

平成26年度

事業報告書

ともえ学園

平成26年度事業報告書

ともえ学園

加齢が進み、平均年齢44歳、最高齢の方は66歳となり、機能、体力の低下による様々な課題が表出し、医療面でのケアも増加し、入院も増えている状況で、これらに対する多方面にわたるさまざまな取り組みを行った。

各部署、各係の取り組みについても基本理念、重点事項を踏まえ、次のとおり平成26年度事業を実施した。

事業

①施設入所支援事業	定員70名	内訳	男性66名	女性4名
②生活介護事業	定員70名	内訳	男性66名	女性4名
③短期入所事業	定員2名			
④日中一時支援事業	若干名			

基本理念

ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の尊厳にふさわしい施設支援を保障し、必要なサービスを提供する。

①利用者の人格、生活史そして要求を尊重し、施設入居によって本人の尊厳や利益が損なわれないよう、相手の立場をよく理解する。

②利用者には、社会生活上の知識や文化的な刺激を受けられるよう積極的な生活の援助を怠らない。

③利用者の人格や行動を情緒豊かに受け止め、共感し、共に向上できる職員となる。

重点事項

①コミュニケーションの積極的推進

個々に対するコミュニケーション手段を確立し正確に意志を伝える。

体罰、人権侵害の根絶。専門性の追求と処遇技術の改善。

深い信頼関係の構築（感情的、場当たりの対応の禁止）

呼称は、名前に「さん」づけを統一し徹底する。

個々の表現、要求、行動を原因から理解、把握し誠実に応える。

個々の価値観を尊重し、対話を深める。

②個々の課題の見直しと、的確な優先課題を設定しそれを推進する。

優先課題に対する一貫した取り組みを推進し、適宜評価を行う。

③個々の可能性を模索し、その開発と援助を行う。創造活動の推進。

④生活態様と生活環境を検討し、現状に満足することなく質の向上と改善を行う。

⑤無人販売所の積極的活用。

⑥年間自己啓発計画を策定し、積極的に取り組む。

⑦3つのグループ分けにより個別対応を深め、一貫した対応を図る。高齢化への対応。

⑧安全と日常の危機管理を徹底し、非常時には適切な対応を行う。

⑨個人情報の保護

1 利用者の状況

①年間の入退所者状況

定員70名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月初在園数	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末在園数	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70

②短期入所事業受入状況

定員2名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
受入人数	1	1	3	2	2	2	2	3	2	1	2	1	22
受入回数	4	3	5	5	6	6	4	7	3	5	5	3	56
受入延日数	13	10	21	16	19	18	12	24	7	16	18	3	177

③日中一時支援事業受入状況

定員 若干名

平成26年度は受け入れ無し。

④在所者状況（平成27年3月31日現在）

年 齢	男	女	計
18～20歳未満	0	0	0
20～25歳未満	1	0	1
25～30歳未満	4	0	4
30～35歳未満	3	0	3
35～40歳未満	7	1	8
40～45歳未満	20	0	20
45～50歳未満	16	2	18
50～55歳未満	10	1	11
55歳以上	5	0	5
計	66	4	70

在 園 年 数	男	女	計
0～1年未満	0	0	0
1～5年未満	6	0	6
5～10年未満	6	1	7
10～15年未満	5	0	5
15～20年未満	32	2	34
20～30年未満	17	1	18
計	66	4	70

診 断 名	男	女	計
自閉症	49	3	52
精神発達遅滞	11	0	11
てんかん	4	0	4
統合失調症	1	1	2
その他	1	0	1
計	66	4	70

障害程度区分	男	女	計
6	23	0	23
5	25	3	28
4	16	1	17
3	2	0	2
計	66	4	70

出身市区町	広島市中区	広島市東区	広島市南区	広島市佐伯区	広島市安佐北区	広島市安佐南区	広島市安芸区	大竹市	呉市	福山市	廿日市市	三次市	東広島市	尾道市	竹原市	江田島市	庄原市
男	3	2	5	9	3	4	1	2	8	4	1	4	1	2	1	1	2
女	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	3	6	9	3	4	1	2	8	4	1	4	1	2	1	1	2

安芸郡熊野町	世羅郡世羅町	島根県松江市	山口県防府市	山口県周南市	山口県岩国市	山口県下関市	岡山県真庭市	富山県富山市	石川県津幡町	長崎県長崎市	東京都渋谷区	計
1	1	2	1	1	2	1	1	1	0	1	1	66
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	70

(高田孝康)

2 トライアングルグループ

1 グループ目標

利用者自身の自己決定、自己選択を尊重する。

ひとり一人が安定した生活を送られるよう、明るく過ごしやすい生活環境と個別配慮された生活パターンを支援、提供していく。

2 生活全般

①目標 基本的な生活習慣の確立を目指す。

健康、清潔の維持に努める。

②内容

衣類整理：衣類を洗濯室から自室に持ち帰り、整理し入浴の準備を行う。

パジャマの準備ができれば脱衣室の棚へ持って行く。

棚にパジャマを置き、衣類カゴは洗濯室に返す。

時間を分け、支援の必要な方は職員が側について一緒に行く。

食事：テーブルに配膳された状態で席に着く形から、自分で配膳口から席まで運ぶセルフの形に変わり、全利用者が適温での食事を摂れるようになった。

入浴：入浴時間の変更により、グループ毎での入浴が可能となった。自立した洗体、洗髪が行えるよう個別の支援を取り組んだ。

手洗い：飲食前やクラブ活動後などに、手指乾燥機の使用や石鹸を泡立てて手を擦るなど確実な手洗いが行えるよう支援を行った。

整容：自立して洗顔が行える利用者には洗顔ソープを使用して顔を洗ってもらった。自立での洗顔が難しい方は濡れタオルでの顔拭きを行った。髭剃りについては職員が全面的に支援を行った。

シーツ交換：毎週土曜日にシーツの更新を行った。自分で交換ができる方にはシーツを渡し交換してもらった。失禁等で寝具が汚れやすい方については、個別に敷きパット等を使

用し、なるべく寝具が汚れないように配慮した。

- ・月1回血圧、体組成測定を行い増減をチェックする。（健康状態の把握）
- ・毎週土曜日の午前、爪切り、その他身だしなみをチェックする。

③経過・課題

食事の際、セルフサービスを行う取り組みが始まったが、利用者はそれほど戸惑う様子もなく定着するまでになった。入浴についてもグループ別で入浴することにより、個別での取り組みを行えるようになり、自立して髪を洗ったり、身体を洗うことができる利用者も増えた。シーツ交換や寝具の準備など、自立して行える場面において利用者の方に行ってもらおうようにした。

課題としては、手洗いなどが不確実な利用者が多く、今後も継続して確実な手洗いができるような取り組みを続ける必要がある。

3 口腔ケア

①目的

口腔内の残渣物除去、利用者の健康維持管理

②内容

日々の歯磨き支援に加えて、電動歯ブラシを使用する口腔ケア、また口腔内のチェック等を利用者一名につき月二回実施した。

③経過、課題、まとめ

平日昼食後に二名づつ電動歯ブラシを使用する口腔ケアを実施した。電動歯ブラシを使用する口腔ケアを実施する事で歯茎からの出血が少なくなっているのを実感した。これまでより口腔内の残渣物が少なくなるよう日々の業務に努めていきたい。12月と1月に風邪が流行する事があったので口腔内の清潔に留意し1年を通して健康に過ごしてもらいたいと思う。

4 美化衛生

①目的

利用者の衛生面からの健康管理

②内容

- ・一日、3回のモップでの拭き掃除を行う。ドアノブなどの拭き上げをクロスを使用して行う。
- ・トイレ掃除を定期的に行い、汚れなどがあつたときには速やかに清掃した。
- ・布団干しに名前を記入して誰の布団かが誰が見ても分かるようにし、布団干しを行う。
- ・ふとん乾燥機を購入し、毎日、数名の布団乾燥を行い、乾燥を行った人は、チェック表に乾燥した日付を記入していく。
- ・湿度の低いときには、感染予防の為、加湿を行う。

③経過・課題

- ・オキシブルファイブを使ったモップかけや布団乾燥については、ほとんど毎日出来ていた。
- ・日課の変更により、グレーチングやフィルター交換が出来ていない事が見られた。
- ・加湿器の使用もできない時があつたので日課の中入れる事が必要だと思う。
- ・日課の中に掃除場所や掃除時間を入れて明確にしていくことで継続することが出来る。
- ・今年度は、職員だけでなく、利用者が出来る事を一緒にしていく取り組みを行い、掃除も職員に付いてする事も出来ていた。

5 日課（クラブ活動 小グループ活動）

①目標

- ・クラブ活動：枝木や雑草を運んでもらうことによって学園周辺の環境美化に努め、併せて利用者の運動を促し健康を維持する。
- ・小グループ活動：様々な創造活動を利用者に提供し、利用者がどんな作業ができるかを探し出す。

小グループに分けて一人一人観察する余裕を持たせ、各々が集中出来る時間や好む環境などの把握に努め、併せて気分転換の一助にする。

②内容

- ・午前中はクラブ活動。午後は小グループ活動と分けて取り組みを行った。
- ・クラブ活動では環境係が草刈りをした所にある雑草などを運んだ。また、遊歩道周辺にある倒木の片付けを行った。
- ・小グループはメンバー表を作成し日々の担当者、内容を決めて行った。
- ・何ができるかわからず複数の起案を作成し、今後の取り組みの課題を探った。

③経過・課題

- ・年度上半期は大量の雑草や雑木の処理のため、マシン班の利用者以外は全員作業をしてもらったが、下半期にあたる冬季は草が少なくなるにつれ仕事量も減少するため、利用者6人の少人数グループを作り作業にあたった。その他の利用者はマシンと散歩に分かれて活動を行った。
- ・作業をする6人のメンバーは固定ではなく柔軟に人数や利用者を編成する。
- ・大半の利用者を率いての活動は靴の履き替えなどでも時間がかかり効率が悪かったが、少数グループの場合は移動時間の短縮ができ、じっくりと活動に専念することができた。今後も少人数での移動が有効となるが、課題としては夏季に大量の草刈りがあった場合は、一時的に利用者の増員が必要と思われる。
- ・小グループでは1年間の活動を通して、少しずつ利用者の「できること」が明らかになってきた。しかし、中庭を利用できるようになればセンターではできなかった園芸にも取りかかれるようになるので、庭を利用した支援計画の立案が必要となる。

6 行事

①目標

- ・利用者個々に応じた行事を提供する。
- ・季節感を実感したり、様々な体験をしてもらえ、事で充実した生活を送ってもらう。
- ・誕生日を意識してもらい楽しい日を過ごす。

②内容

月	日	行事名	参加人数	場所
4	11	花見・バスドライブ	25名	ハウス横広場・七塚牧場
5	2	地域園芸交流	15名	灰塚ダム
	7	バスドライブ	25名	吉田サッカー公園
6	6	バスドライブ	25名	三次公園
7	3	バスドライブ	25名	鮎の里
8	2	夏祭り	25名	多目的棟
	14	バスドライブ	18名	道の駅「北の関宿安芸高田」
9	8	バスハイク	18名	君田
10	13	レクリエーション	18名	療育センター
11	10	バスドライブ	25名	君田経由で卑弥呼(茜猫)
12	3	忘年会	25名	療育センタープレイルーム
1	8	新年会・初詣	25名	厳島神社(十日市)
2	5	バスドライブ	25名	県立三次公園
3	6	バスドライブ	25名	布野福祉公園・道の駅

5	14	宿泊旅行	4名	加茂川・中海遊覧・勾玉作り体験工房
6	25	宿泊旅行	4名	秋吉台・角島方面
7	10	宿泊旅行	4名	鳥取砂丘・米子方面
11	26	宿泊旅行	4名	竹原街並み保存地区・果実の森方面
4	18	日帰り旅行	3名	東広島方面
5	23	日帰り旅行	3名	ガラスの里・森林公園
6	19	日帰り旅行	3名	ゆめみなとタワー
7	28	日帰り旅行	3名	壺番館・モナカルームからさわ
9	22	日帰り旅行	2名	帝釈峡山荘
10	22	日帰り旅行	2名	東広島方面
11	20	日帰り旅行	3名	せら夢公園
12	11	日帰り旅行	3名	島根海洋館アクアス
2	19	日帰り旅行	3名	境が浜マリーナ（松永方面）
4	22	お楽しみ外出	3名	吉田ゆめタウン
9	2	お楽しみ外出	3名	三次公園・三次市内
	11	お楽しみ外出	3名	折り紙博物館
11	13	お楽しみ外出	3名	備北丘陵公園
12	16	お楽しみ外出	3名	ゆめマート・三次公園
1	22	お楽しみ外出	3名	三次運動公園
2	12	お楽しみ外出	3名	三良坂方面
3	19	お楽しみ外出	2名	折り紙博物館
5		5月誕生お祝い	2名	三次市内、邑智方面
6		6月誕生お祝い	2名	東広島方面、東広島方面
7		7月誕生お祝い	3名	三次市内、福山方面・療育センター
8		8月誕生お祝い	4名	広島市内、療育センター、三次市内
9		9月誕生お祝い	2名	三次市内、安芸高田方面
10		10月誕生お祝い	1名	療育センター
11		11月誕生お祝い	4名	療育センター、東広島方面、三次市内
12		12月誕生お祝い	1名	療育センター
1		1月誕生お祝い	2名	三次市内、安芸高田方面
2		2月誕生お祝い	3名	三次市内
3		3月誕生お祝い	1名	備北丘陵公園

③まとめ

- ・今年度は、誕生日の外出をお祝い会とし学園内で行う事も多くあり、危険もなく良かったのではないと思う。外出でも怪我なく出掛ける事は出来たが、外へ出る事が好きな利用者とあまり好まない利用者もいるので、学園でできる事も色々考えていけたら良いと思った。
- ・利用者の組み合わせも、考える必要があるなので、早めの検討が必要だと思う。

7 環境改善

①目的

利用者が生活しやすくなるよう環境整備、棟内の改善を行う。

②内容

リビングに大型のテレビ棚を設置。ベッドの修繕、定期チェック。ベッドの更新1件
居室のサッシ尿石落とし、サッシの修繕。

③経過、課題

サッシが曲がっている。修理はしたが、すぐに曲がる。尿石もある程度落とした。ベッドは使える物もあるが、更新が必要な物に関しては随時更新していく。また、畳も古くなってきている為、担当者とは相談し、畳の更新もしていく。時間がある時はラウンドしながら、壁の傷やベッドの状態等確認するようにした方が良かったと思った。

8 運動

①目的

体力維持、向上

②内容

行事に合わせて出し物の練習、雨天時活動が出来ない日のマット運動など

③経過、課題

ボール運動などは楽しめる利用者とはそうでない利用者に分かれる。マット運動ではほとんどの利用者さん声かけで前回り等が出来た。課題としては職員と一緒に楽しめる様に支援していく。

9 グループ会議

①目的

利用者により良いサービスを提供できるように支援内容、各活動についての課題を協議する。
ケースカンファレンスを行い支援の方法、見直しを行う。

②内容

4月	午前・午後活動について 球技大会について グループ日課・行事について	ケースカンファレンス 2名
5月	新日課について グループ活動について マシン運動について	
6月	入浴支援、食事支援について	ケースカンファレンス 1名
7月	日課について・クラブ活動について	人権について
8月	掃除について、日課について	
9月	記録について、日課について	ケースカンファレンス 4名
10月	文化祭・発表会について	ケースカンファレンス 3名
11月	口腔ケア・日課について	
12月	日課について・感染症予防について	
1月	感染症予防・個別支援計画について	ケースカンファレンス 3名
2月	利用者アセスメントについて	ケースカンファレンス 2名
3月	来年度について	ケースカンファレンス 4名

③経過、課題

日課の変更等により、大きく利用者の動きなどが変わったこと、クラブ活動での取り組みの幅が拡がり職員の動きなどを再確認する事が多くあった。ケース担当者会議を開催することで、会議内でのケースカンファレンスの回数も減った。会議を開くにあたって参加メンバーの発言が多くなるように心掛けたが、自由意見でも発言してもらえなかった場づくりがまだできていなかったように思う。参加メンバーが会議に参加して良かったと思える会議を作っていきたい。

10 まとめ

今年度は活動に力を入れ、クラブ活動、午後からの小グループ活動での活動メニュー充実を図り利用者のできることを一つでも多く取り組めるようにした。マシン運動も定期的の実施出来るようになったが、年度途中で職員数が1名減となり、取り組み実施ができない日も多くなってしまい利用者の皆さんに御迷惑をかけてしまった。職員数が少ない状況でも活動を実施出来るよう日課などの見直しを行ったが、職員数が減った時にフォローできる体制を取ることに難しさを感じた。健康面において、季節外れのインフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症を発症する事案もあり、感染症予防の徹底を図る必要性を強く感じた。口腔ケアや清掃、除菌などの感染症予防を引き続き継続し、再発のないように努力する。今後も利用者の健康面においては生活習慣病の予防、社会生活を営む為に必要な機能の維持及び向上を図る取り組みを続けたい。

(塚本博志、荒瀬好司、堂西美保、若床まゆみ、竹間和輝、穂登原亮介、川本亜由美、見土 唯、熊澤誠治、瀬戸 彩、藤本将太郎、大造真生)

3 レインボーグループ

1 グループ目標

- ・言語的、非言語的コミュニケーションのあり方を取り入れた対応をし、安定して穏やかに生活できるよう個別配慮をした支援をする。
- ・体力作り、健康保持を考慮したプログラムを考える。
- ・安全で清潔な生活環境を提供する。
- ・楽しみのある生活を送る。

2 生活

1) 生活全般

①目的

- ・基本的生活習慣の確立を目指す。
- ・生き生きとした生活を送られるよう支援する。
- ・体力低下の防止、健康維持に努める。

②内容

食 事：グループ毎にセルフでの形式に変更。トレイ、箸を乗せ、カウンターより食事を自分で取り、席に持って行き摂取する。温かい物は温かく、冷たい物は冷たいまま食べられようになった。取脂質異常食、肝臓病食を取り入れる。ゆっくり・美味しく、一人ひりにあった支援を探り、をモットーに個別配慮をおこなった。

入 浴：グループ毎の入浴になり、個々のペースにあわせた誘導、支援をする。支援しながら髪洗体の自立を目指す。また怪我や皮膚疾患等無いか、全身のチェックをおこなった。

排 泄：個々に応じた排泄誘導、確認による健康状態の把握に努めた。排泄後、始末の支援（り紙を渡す）をおこなう。朝食後、昼食後に全員排便誘導を行い、トイレに行く習慣付けた。排便があった場合は量や状態を一覧表に記入する。

運 動：午前の集い前ラジオ体操第1、午後の集い前ラジオ体操第2を行った。

午前午後とグループ毎にクラブ活動を行う。雨天時には室内やセンター内ウォーキングを行った。生き生きクラブは午後からはマシンでの運動をおこなった。

寝 具：週一回日曜日にシーツ交換、また日常的な汚れはその都度交換した。布団乾燥機を使用して毎日2名ずつ布団の乾燥を行った。天気の良い日には出来るだけ外に干す事を努めた。必要に応じて失禁のある人には、ラバーシーツを使用。ラバーシーツ6枚新規購入。個々に合わせ、毛布や敷き毛布やパットを使用してもらった。午睡用にリビングに夏タオルケット、冬は毛布5枚を共有の物として使用してもらった。

衣 類：年2回の衣替え・適宜補充。季節に応じた衣類調整等の気配りをした。衣替えの時期は、係よりケース担当に声掛けをして衣類の不足のないよう補充を依頼した。衣類の破れなどは速やかに修正などを行い、身だしなみに気をつけた。ミシンを購入し、補修できる物に付いては適宜補修を行った。ソックス専用のケースを購入し、倉庫に保管した。

日用品：在庫確認による常備。早めの発注を心掛けた。

掃 除：掃除の徹底による安全、清潔な生活空間の確保。感染症予防。

専用の床用モップ10枚、窓・ノブ・机等用5枚、台車を用意した。

・床拭き 一日3回（11:00、15:00、0:00）

感染症発症時 … ピューラックス

その他の期間 … オキシヴィルファイブ

（冬場128倍 その他256倍を専用モップに浸し使用する）

・居室床拭き 一日1回（11:00）… 床拭きと同じ

・ドアノブ拭き、窓拭き … オキシヴィルファイブ（専用クロス）

・トイレ掃除 一日3回（8:30、13:00、15:30）

手洗い：飲食前・外出後・クラブ活動後、手を添えシャボネットを泡立てる等、個別支援により確実な手洗いを行った。手指乾燥機による確実な拭き取り。食事前と間食前のジュースは特に徹底して行った。

顔拭き：毎朝、朝食後に濡れタオルでの顔拭きを行った。洗顔が出来る利用者には洗顔ソープ使い洗ってもらった。

髭剃り：起床後、個人用の電気カミソリでの髭剃り実施。

散 髪：定期的に実施。個々にあった髪型にする。

薬付け：入浴後、処置記録表を元に確実に実施。個別に、点眼薬や、皮膚疾患への薬の塗布を食後、決まった時間に行った。すり傷、切り傷等の消毒や軟膏塗布については、その利用者の状況に応じて医務との連携を取り処置をした。

加 湿：感染症予防対策でクリーンボーイによる加湿を冬場1日2回行った。

服 薬：3食共に服薬は食堂で食後に行った。2名での与薬確認をし誤薬には注意した。

③経過、課題

- ・利用者の年齢が上がり健康状態の観察が年々必要になっている。身体の変調等、日頃の様子観察をし、看護との連携を密とする。細かいことでも看護に相談を行い、迅速な対応をしていく。
- ・身だしなみについては、着衣のみだれ、衣類の補修、補充、季節に合った衣類などを迅速に対応していく。
- ・生活環境を清潔にし感染症を発症させないように掃除を徹底する。

2) 口腔ケア

①目的：口腔衛生を保ち、歯周病を予防し健康な生活につなげる。

②内容

- ・毎食後の歯磨き実施。今年度はヘッドレスト付きリクライニングチェアを購入し、座ってもらったの仕上げ歯みがきを行った。
- ・適時、歯ブラシの交換。
- ・毎日2名ずつ、口腔ケアを行いコンクールでブラッシングをし、歯周病防止に努めた。また口腔モニタリングシートに記録を行い、看護との連携を行った。
- ・外出後にはイソジンによる口腔内消毒。
- ・歯ブラシは、朝食、昼食後は滅菌消毒器で消毒。夕食後はピューラックス薄め液で消毒殺菌をおこなった。

③経過、課題

- ・細やかなケアにより歯周病を予防する。
- ・高齢化に伴い嚥下や咀嚼機能の低下を早急に発見し、さらなる悪化を防ぐ。

3) クラブ活動

①目的

- ・利用者が安定して活動しやすい場と活動プログラムを充実させ、確実に活動できる環境を提供する。
- ・スムーズに活動できるよう準備や配慮を行う。
- ・個々に合ったことを楽しみながら行い、安定を図る。

②内容

月曜日～金曜日の午前、午後

- ・きのこクラブ …… ホダ木の移動、植菌、水槽浸け、水槽上げ、椎茸の収穫、乾燥
落ち葉・草集め・枝木の整理
(雨天、冬季はセンター内ウォーキング、マシンの使用、マット運動、跳び箱)
 - ・生き生きクラブ…… ラジオ体操、転倒予防、口腔体操、マシン、学園周辺のウォーキング
(雨天、冬季は室内ウォーキング)
 - ・ガーデニングクラブ …… 野菜栽培、花壇の管理、水やり、芝桜の植栽
(雨天、冬季はセンター内ウォーキング、マシンの使用、マット運動、跳び箱)
- *入院、退院後の利用者…リサイクルクラブ→生き生きクラブに変更(6月より)
きのこクラブ→生き生きクラブに変更(11月より)
きのこクラブ→生き生きクラブに変更(3月末より)

*毎月最後のクラブ活動日には午後から月末バスバスドライブを行い、活動の評価をおこなうと共に慰労した。

③経過、課題

- ・山のホダ場を整備し誰でもホダ木の伏せ込みが簡単にできるように単管を設置した結果、伏せ込みもし易くなった。椎茸の収穫も簡単になった。
- ・プレハブで原木への植菌が出来るように単管を設置し作業しやすいように整備した結果、植菌の効率が向上した。
- ・椎茸の収穫時期や天候により椎茸を無駄にしないようにホダ場に屋根が必要。
- ・降雪時や降雨時の後の椎茸の収穫時期や大きさ等の判断基準が徹底されておらず、困惑した

ケースがあった。

- ・乾燥椎茸の製品化を再開した。
- ・収穫が多量の場合には、法人やこじか荘、子鹿医療療育センターに販売をした。
- ・入院退院後は所属のクラブを変わって、様子観察を行った。
- ・ガーデンクラブの活動が無いときがあり、きのこクラブ、生き生きクラブに合同するときもあった。
- ・ガーデンクラブで野菜（胡瓜、なすび、ピーマン、いちご、大葉、三つ葉、オクラ、ねぎ）の収穫を行い、厨房へ持っていき、食事として全利用者に提供してもらった。
- ・生き生きクラブの増員に伴い、活動の支援が行き届かない時があった。
- ・個々の適性や好みに合った配置が難しかった。活動内容が利用者に合っていたのか。
- ・雨天時、降雪時等の悪天候時の活動内容が課題である。

4) 小グループ活動

①目的

- ・少人数で行動することで、利用者の新たな側面を確認し今後の生活や活動の向上につなげていく。

②内容

土日の午後、きのこ、生き生きグループに分かれて散歩を行う。

- ・中庭の整備、ガーデニング
- ・遊歩道、学園周りの散歩等に分かれての体力作り

③経過・課題

- ・それぞれの活動を通して、興味を示したり上手に作業が出来るなど、新たな能力の発見に繋がったと思う。
- ・創造活動や個別活動、運動の係と連携して、個々の利用者に合った少グループ活動を模索していきたい。

5) 個別活動

①目的

- ・一対一で活動をする事により利用者への理解を深め、利用者の新たな側面を確認し今後の生活や活動の向上につなげていく。

②内容

- ・土、日 11:00～約30分間、利用者にあった活動を職員と一対一で行う。

③経過・課題

- ・今年度は、ほとんど個別の活動を行わなかった。
- ・施設サービス計画（2）に基づいた、より具体的な活動を行っていきたい。

6) 環境

①目的

- ・怪我のない安全な空間を提供する。
- ・破損した物の交換。
- ・利用者が楽しみを持って生活出来る環境作り。

②内容

- ・破壊行為等による破損は営繕係と協力をして早めに対処を行った。

- ・鍵など開けにくくなっているドアノブの調整と交換。

③経過、課題

- ・ドアノブの整合性確認11月実施。破損と劣化による故障の調査を随時行った。
- ・ベッドの更新（1台）畳みから、ベッドに変更（1名）
- ・破損箇所については随時営繕係と協力をしてスピーディーな修繕を行えたと思う。今後も利用者が破壊に至らない支援を前提に不測の事態には早い修繕が出来るよう必要物品の補充を行っていく。

7) ブログ

①目的

- ・ホームページのブログを通じて利用者の生活や様子を、家族や各方面に発信する。

②内容

- ・行事や日課、日々の生活風景等を毎日紹介した。

③経過・課題

- ・撮影対象者の一ヶ月ごとの予定表を作成した。その日の対象者以外で良いシーンが在れば優先し掲載をおこなった。
- ・不適切な表現にならないように注意しながらレインボーグループでの生活の様子を紹介した。
- ・より充実した内容となるように、画面や配色、文字校正など、色々なところに視点を置いた
- ・グループ職員全体が写真や文章など、今よりもわかりやすく工夫していくスキルを身に付けていく事が今後の課題である。

8) 日課、日誌

①目的

- ・日課を変更毎に更新をおこなった。
- ・確実、かつスムーズに支援する為の日課表の作成を心掛けた。
- ・利用者の状況や確実な支援が行える為の日誌様式の変更をおこなった。

②内容

- ・一日の流れと勤務形態を分かりやすく記載した。
- ・利用者の動きや日課の流れを確認して記載した。
- ・ミスが起こらない支援ができるよう、各マニュアルの変更と徹底化を行った。
- ・居室への施錠記録欄を追記した。
- ・利用者の状況に応じて変更を行った。

③経過・課題

- ・定期的に日誌様式の見直しを行った。今後も行っていく。

9) 記録

①目的

- ・写真を、利用者が理解できる形で提供し、生活を振り返ったり、行事や外出などの思い出を楽しんで頂く。
- ・生活の充実を図る。

②内容

- ・破られる事に無いように窓の外にボードを作成して、毎月発行のともえ通信枠を用いて写真を変え掲示した。

③経過、課題

- ・ともえ通信以外の写真も少しずつ掲示した。
- ・写真を貼るボードが、壊れていたなので、1月より実施した。
- ・もっと早めに、多くの写真を掲示すれば良かった。

10) 処遇改善

①目的

- ・業務の省力化、効率化、見直し。
- ・情報の交換や提案を行う。

②内容

- ・施設内メールの掲示板を活用して、情報の交換や提案、職員への周知を行い、業務の改善に役立てる。アンケートを実施し、情報を集めて来年度へ向けて活用する。

③経過・課題

- ・日課や取り組みの変更、利用者対応の情報など、さまざまな懸案事項について、勤務日以外の職員にも毎日の様子や経過を伝えたり、改善案を提案してもらう事で、業務の改善に役立ったと思う。
- ・まだ効率悪く仕事をしている所があると思うが、時間や対応の難しさ等の様々な理由で改善が出来ていない面も多くある。
- ・問い掛けに対し、意見が出にくい課題がある。
- ・日々、改善出来る事はないか考えながら業務をおこない、職員からの改善提案を出し易い方法を模索していく。

3 行事

1) 誕生者外出

①目的

- ・誕生日を迎えた事を感じてもらう。
- ・誕生日に担当職員と外出やお祝い会を行い、親睦を深めてお祝いをする。

②内容

- ・誕生日の日（もしくは近日）に午後から外出をする。
- ・誕生日の日（もしくは近日）に午後から外出をする。

外出日	年齢	外出先
4月4日	42歳	風季舎、市内ドライブ、コンビニ、尾関山
4月16日	29歳	コンビニ、三次運動公園
4月23日	39歳	セブンイレブン、風土記の丘
6月17日	37歳	セブンイレブン、三次公園
6月30日	46歳	ジョイフル三次店、市内ドライブ、
7月27日	66歳	絵麗顔都、市内ドライブ、
7月27日	48歳	CCプラザ（タカラブネ）・高谷山展望
8月5日	50歳	CCプラザ、みよし運動公園
8月31日	46歳	三次運動公園・コンビニ
9月28日	52歳	風季舎、風土記の丘、シュープラザ

10月9日	41歳	風季舎、三次運動公園
11月3日	43歳	レストランカフェ「来里」
11月24日	44歳	センター宿泊室・遊歩道
11月26日	48歳	ザ・ビッグ（庄原店）・グリーンオアシス
11月30日	48歳	CCプラザ、風土記の丘
12月3日	46歳	CCプラザ、ナガタニ、（誕生日は11月10）
12月13日	42歳	来里（くるり） しまむら
1月19日	46歳	出雲大社備後分院 コンビニ
1月27日	28歳	世羅方面のカフェ（誕生日は12月27日）
2月10日	27歳	コンビニエンスストア、三次公園
2月15日	36歳	作木図書館、セブンイレブン

③経過、課題

- ・誕生日である事を理解してもらい、年齢や興味など、個々の利用者に合った外出を計画していく事が課題である。

2) レクリエーション

①目的

- ・季節感のあるレクリエーションを提供する。

②内容

- ・レインボー会議のある日の午後に、季節に応じたレクリエーションを行う。

実施日	行事名	場所	内容
4月9日	お花見会	君田遊園	お弁当会食 散歩
8月6日	夏祭り	センタープレイルーム	輪投げ、スイカ割り、綿菓子
12月5日	忘年会	センタープレイルーム	会食、カラオケ、スライド上映
1月7日	新年会	センタープレイルーム	会食
	初詣	鷲神社	お参り
3月8日	お楽しみ会	センタープレイルーム	会食、カラオケ、Tシャツ作り

③経過、課題

- ・天候が悪く、予定通りにならない事もあったが、花見、夏祭り、季節を感じて頂ける事が出来たと思う。

3) バスドライブ・バスハイキング

①目的

- ・ドライブすることによって気分転換をはかる。
- ・普段と違う場所での散策を楽しむ。

②内容

- ・レインボー会議のある日の午後にマイクロバスと8人乗りワゴンに分乗してドライブ。昼食のお弁当や間食を持って行き、山や公園で食べたり、散歩や遊具で楽しんでもらった。

実施日	行き先	参加人数
5月1日	高幡森林浴の森キャンプ場	16名
5月9日	灰塚ダム記念公園	21名
6月4日	風土記の丘	21名
7月4日	尾関山公園	21名
8月15日	灰塚ダム 湖畔の森	18名
9月5日	風土記の丘	21名
11月8日	湧永庭園	20名
2月6日	風土記の丘	20名

③経過、課題

- ・体調不良者があり、全員で参加できない事があった。
- ・散策や遊具で遊ぶ時間をしっかり取り、のんびりとした時間を過ごせてもらった。
- ・利用者は毎回楽しみにしていた。
- ・季節によっては感染症対策の為、無理のない外出を計画した。

4) 外出

①目的

カフェ外出

- ・外出することにより気分転換をはかり、通常生活の励みにする。

ランチ外出

- ・好きな昼食を食べ、一日をゆっくりと過ごし、気分転換をはかる。
- ・色々な経験の場を提供する。

スケッチ外出

- ・スケッチブック等の絵画の道具を持って、絵を描いてもらう。
- ・利用者の可能性を確認する。

お楽しみ外出

- ・食べること以外の楽しい体験をしてもらう。
- ・果物狩り、観光を行った。

宿泊旅行

- ・ドライブや観光を通して気分転換を行い、学園生活の励みになるような時間を過ごす。
- ・旅行を通して学園では出来ない体験をしてもらい楽しく過ごしてもらう。
- ・職員と利用者が寝食を共にすることで、学園では見られない様子や表情を感じ親睦を深める。

②内容

- ・カフェ外出は平日（主に火曜日）の午後
- ランチ外出（一日を通して昼食に趣を置いた外出）
- スケッチ外出（一日を通して絵を描いてもらう外出）
- お楽しみ外出（一日を通して楽しいことを体験してもらう外出）
- 宿泊旅行（1泊2日 宿泊）

実 施 日	内 容
-------	-----

4月	15日	カフェ外出：作木図書館 セブンイレブン
5月	13日	カフェ外出：せら夢公園、セブンイレブン
5月	28日	ランチ外出：国立備北丘陵公園、セブンイレブン、みよし公園
5月	21・22日	宿泊旅行：呉、蒲刈
6月	10日	カフェ外出：たかの道の駅
6月	13日	お楽しみ外出：ゆーとぴあ邑智、作木図書館
6月	23日	ランチ外出：イオンモール府中
7月	8・9日	宿泊旅行：境港、美保関、大山、蒜山高原
7月	11日	ランチ外出：世羅ジョイフル、ワイナリー
7月	15日	カフェ外出：備北丘陵公園
8月	18日	お楽しみ外出：平田観光農園・夢吊り橋
8月	22日	ランチ外出：スタミナ太郎広島大原店、三次運動公園
8月	26日	カフェ外出：風土記の丘
9月	9日	カフェ外出：高谷山、セブンイレブン
9月	12日	ランチ外出：すすめバイキング東広島店
9月	25・26日	宿泊旅行：島根県邑智周辺
10月	8日	スケッチ外出：CCプラザ、三次運動公園
10月	16日	スケッチ外出：世羅ゆめ公園
10月	23・24日	宿泊旅行：水木しげるロード、蒜山高原
10月	28日	スケッチ外出：道の駅たたらば・竜頭八重滝
11月	25日	カフェ外出：道の駅 たたらば壱番地
12月	9日	カフェ外出：三次公園
1月	13日	カフェ外出：セブンイレブン・三次運動公園
1月	20日	カフェ外出：コンビニ、作木図書館
2月	13日	カフェ外出：三次マクドナルド、三次運動公園
2月	17日	カフェ外出：三次運動公園
3月	10日	カフェ外出：コンビニ、三次運動公園
3月	17日	カフェ外出：世羅ゆめ公園

③経過、課題

- ・利用者の方は、外出をととても楽しまれていた。
- ・2年目のスケッチ外出だったが、いつもの外出の様に食べる事がメインになってしまった。
- ・利用者の好みや興味にあわせた外出を計画できたと思うが、より好みに合わせた外出を工夫して計画していきたい。
- ・利用者同士の配慮が出来た。
- ・ランチ外出、お楽しみ外出の区別が付かない企画があったので、外出の種類の見直しが必要。

5) レインボーレクリエーション

平成26年10月12日（日）利用者21名、ご家族15家族、25名の参加。

①目的

- ・利用者、ご家族、職員の親睦を深めて楽しい時間を過ごす。

②場所

- ・ともえ学園プレイルーム、多目的棟

③内容

- ・センター玄関で受付をしプレイルームでご家族の方だけでオリエンテーションを行った。
- ・利用者玄関で利用者の方と合流。
 - ①花の苗（ビオラ）球根（チューリップ）をプランターに移植
 - ②スライド写真の上映
 - ③うどん、焼き鳥、ピザ作り
 - ④松毬のクリスマスツリー、葛のクリスマスリースの作成
- ・午前、①と②をグループに分かれローテーションで体験していただいた。
- ・うどんや焼き鳥などは、ご家族の方にも作って頂き、職員と協力して利用者に提供した。
- ・午後からは、クリスマスリース作りとピザ作りを行った。
- ・面談希望のご家族は、午前、午後に分かれて実施した。

④経過・課題

- ・うどん作りや焼き鳥などに、職員が付き、家族が来られていない利用者6人の支援を職員2人ですることとなりった。きちんと担当を付けるべきだった。
- ・午後からは食事の時間がずれ込んだ為、面談の時間の確保が難しくレクリエーションの会場で担当者が声を掛けを行い面談を行った。
- ・興味が無い利用者、ご家族は座って過ごされる方もおられ全員参加と言う雰囲気にはならなかったのが残念に感じた。

4 グループ会議

①目的

- ・利用者のQOLを高めるため、個別処遇、日課、環境、各活動について課題を定義検討し、取り組みについての意識統一を図る。

②内容

- 4月 運営会議・処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動について
月例会について 衣類について 健康体操について 食事支援について
ケースカンファレンス（3名）
- 5月 運営会議・処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動 小グループ活動
個別活動 活動着について 誕生者外出について 間食について、薬の保管について
ケースカンファレンス（1名）
- 6月 運営会議・処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動 入浴の開始時間について
弁償衣類について 環境 個別活動 マシン 月例会について
ケースカンファレンス（1名）
- 7月 運営会議・処遇会議からの補足事項 出張報告 行事についてクラブ活動
月末ドライブ マシン 早Bの掃除について 食堂での服薬について
福祉の森の記録について
ケースカンファレンス（2名）
- 8月 運営会議・処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動 ベッドの更新
健康体操係 変薬について 呼称について 間食の精算について
ケースカンファレンス（1名）

- 9月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動 衣類整理について
靴下ケースについて 夕食の流れについて 夕食の流れについて
ケースカンファレンス（9名）
- 10月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動 ソックスについて
更衣室トイレの清掃について ベッドについて ベッドの畳みについて
マシン記録表について 遅出退勤時間について 入浴の順番について
会議室の整理整頓について 食事保存時間について 業務目標・成果シートについて
ケースカンファレンス（5名）
- 11月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動 衣類のチェック
感染症（ノロウイルス、インフルエンザ）の場合の掃除方法 健康体操 薬の変更
間食の精算時について 呼称について 利用者の布団について トイレ掃除の雑巾
会議室の整理整頓 園長の決裁が終了後 レインボー日誌の閲覧チェック
ケースカンファレンス（1名）
- 12月 運営会議、処遇会議からの補足事項 出張報告 行事について クラブ活動
来年度の外出について 靴下の毎日の着用について 加湿について
衣類等、物品の弁償分の購入決裁について 口腔ケアについて
健康体操の用シューズの購入について 言葉遣いや態度、言い方について
ケースカンファレンス（3名）
- 1月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動
マイクロバスの自動ドアについて センターのエアコン工事について
来年度の行事について 行事係から簡易的なアンケートにて
散歩時のジャンパー 体育館シューズを購入 口腔ケア専用の椅子を購入
入浴後の上着について 看護が休日の場合の利用者対応について
利用者の布団について 利用者の呼称について 日誌の閲覧チェックについて
手指乾燥機の水受け皿の掃除 口腔ケアの記録 布団乾燥の記録
ケースカンファレンス（1名）
- 2月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動
冷蔵庫の中の物の管理 挨拶について 来年度のクラブ活動について
マシンの実施について 健康体操の専用靴について 人権係より
来年度のクラブ活動や行事についてのアンケート 感染症時の対策
施設サービス計画書2について 集い前の点呼について 様子連絡票について
ケースカンファレンス（8名）
- 3月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動
利用者のグループ移動について 来年度の行事について
行事やその他の意見の提出 日誌の閲覧チェック
ケースカンファレンス（4名）

③経過、課題

- ・ケースカンファレンスは、その時々利用者の状態により、支援方法や取り組みの意見交換を行い、支援方法の統一を図った。
- ・会議時間が短く、協議が出来ないことがあった。協議できなかった事項や、協議事項が発生

した際には迅速にサイボウズのグループ専用の掲示板で意見を収集し対応を行った。

- ・会議で決まった改たな取り組みや業務について、会議に参加出来なかった職員へは、会議録作成前にサイボウズで周知をし、共通理解を持った。
- ・事前に会議議題用紙を作成し、係やケース担当者より議題を集めたが、積極的な提案はなかった。会議では、発言する職員が決まっており、意見を引き出し事ができなかった。

5 まとめ

- ・5月より、月～金まで、午前午後とクラブ活動を実施する事ができ、生活のリズム作りを行った。土日は、小グループに分かれて散歩を行った。
- ・食事は、三食とも、セルフサービスで、1名を覗いては自分で食事を取ることが出来ている。
- ・入浴は、各グループ毎とし、グループ職員が支援を行うこととした。グループ職員が支援をすることで、個別の対応やより統一した支援が出来た。
- ・利用者の体調不良や骨折やにより入院、手術があった。退院後の支援方法等は、迅速に統一した支援を行うため、サイボウズの掲示板を利用した。
- ・一日三回トイレ掃除を行うことで、生活棟内の臭い対策もできた。
- ・感染症予防の意識も高まり、清潔で快適な環境づくりに取り組んだ。そのためか、今年度は、ノロウイルス感染症やインフルエンザに罹患する利用者がいなかった。
- ・修繕箇所の整備や改善も行った。
- ・中庭に花や野菜を植え収穫することができた。
- ・早出Bは9時から間接業務専門を継続し、掃除やパジャマの準備等を行った。
- ・健康面では看護と連携を取り、異常の早期発見、対応に努めた。

6 来園度へ向けて

- ・利用者の視点に立ち、安心して快適に過ごして頂ける環境づくり、個々の対応方法、支援方法を模索し、楽しみのある生活が送れるように考えて行きたい。
- ・一人ひとりに視点を当て、その人の真のニーズを探り出し、ゆっくりと関わる事が出来るような個別活動の時間更に充実させていきたい。
- ・利用者が高齢化してきているので、体力低下防止の為、体を動かす取り組みを行う。
- ・看護と連携をし生活習慣病の予防に努める。
- ・利用者の変化に気付き、迅速に対応を行う。

(久保宏子、岩戸洋三、渡邊 武、高場修治、魚見敏満、桑田樹実、菅原献司、林 宏典、圓藤久明、今田弘之、上川清美、中野基行)

4 はなまるグループ

1 グループ目標

- ・利用者の個性や行動を理解し、自己選択、自己決定を尊重し、健康で豊かな生活を支援する
- ・清潔で安心して生活して頂ける個別配慮された環境を提供する。

2 生活

1) 環境

①目 標

- ・快適かつ個別配慮された生活環境の整備を行う。
- ・建物、建具の損傷、改善に努め、補修、交換、修繕、改良を行う。

②内 容

- ・ 1日に廊下を3回、窓やドアノブを2回、居室を1回、掃除を行った。
- ・ 冬場は換気も含め5分程度窓を開け空気の入換えを行った。
- ・ 定例外泊時には掃除場所を決め普段行き届かない所の掃除を行った。
- ・ フィルター、排煙窓の網戸の清掃を行った。

③まとめ

- ・ 建具の損傷については確認した上、営繕係に対応してもらった。電灯が切れたヶ所はその都度交換した
- ・ 廊下やリビングなどの共有部分は季節感を出すように配慮していきたい。
- ・ 冬季や感染症が流行っている時期は、随時クリーンボーイを使用し加湿した。
- ・ 廊下、窓やノブ、居室の掃除を入念に行うことで感染症を防ぐ事ができた。

2) 衛生

①目 的

- ・ 感染予防と対応
- ・ 健康維持

②内 容

- ・ 入浴後も含め指示された軟膏塗布・消毒を看護のチェック表に基づき確実に行った。
- ・ 個々の健康状態の把握に努め、看護との連携を深め、迅速な処置、必要な受診を速やかに実行できる体制作りを努めた。
- ・ 午前、午後の活動後や食事前の手洗いうがいの実施、手指消毒を徹底した。
- ・ 毎月1回体組成測定を行い、健康管理に努めた。
- ・ 歯磨き支援として毎月2回、24名全員行い、口腔内のチェックを実施した。チェック表を看護職員と共有する事で速やかに歯科受診の検討をしてもらった。
- ・ 特に歯茎からの出血が多い人（4名）は眠剤服薬後スポンジブラシでのマッサージを行った
- ・ 毎週土曜日に爪切り、日曜日に血圧測定を実施した。
- ・ 体力測定を行い、利用者さん一人一人の運動能力の把握に努めた。
- ・ 夕食後の歯磨き終了後、全員の歯ブラシをピューラックス液に浸け、消毒を行った。
- ・ 昼食後と夕食後は全員仕上げ磨きを行った。
- ・ 歯ブラシの毛先が開いたら交換する。
- ・ 床拭きやドアノブなどをオキシヴィルファイヴを使用し1日2回行い、感染予防を徹底した。
- ・ 手洗い時、シャボネットを二つにし、手洗いの効率化を図った。
- ・ 季節の変わり目には、衣類整理、布団干し等チェック表を作成しを行った。また冬季は布団乾燥機を購入し毎日乾燥した。

③まとめ

- ・ 入浴後の軟膏塗布はチェック表を使用し確実に行った。
- ・ 体調の悪い人には早めに対応し配慮できたが、自分から体調の不調を訴えることが難しい方に対しては日頃の様子観察から把握する。
- ・ 手洗いとうがい、手指消毒を徹底して行ったことで、体調を崩すケースは少なかった。
- ・ 毎週土曜日の爪切り、日曜日の血圧測定は衛生と健康状態の把握の1つになった。
- ・ 月2回、口腔状態の観察で、虫歯の発見や、口内炎の発見、看護と情報を共有し早めに歯科受

診が出来るようになった。

- ・仕上げ磨きの回数を増やすことで出血など口腔内でのトラブルも減少している。
- ・今後も食事や睡眠時間、口腔ケアに注意し、毎日の生活が精神的、肉体的に安定した状態で規則正しい生活で過ごして頂けるように努めたい。
- ・天候が良い日には布団を中庭に干すことが出来、皮膚疾患の利用者が少なかった。

3 グループ日課

①目的

- ・日課の流れを組み立て、利用者の皆さんが適度に身体を動かし、健康に生活できるようにする。
- ・クラブ活動以外の時間を有効に使うための内容を提供する。

②内容

- ・運動の時間を設けて球技大会・スポレク祭に向けて練習や、体力測定を行う。
- ・雨天時や寒い時期以外は、園外へ往復3 Km程度の距離のウォーキングを実施し、暑い時期は粉末のスポーツドリンクを出発前に作り、途中で水分補給を行う。
- ・降雪や雨天時の運動は、療育センター内のウォーキングやトレーニングルームで様々な運動用具を使用し、体力、筋力低下の防止に努める。
- ・前年度に引き続き、雨天時などに室内で行えるような運動以外の取り組み（マンダラ塗り絵、センターウォーキング）を継続して行った。
- ・運動では、サッカー、バスケットボール、自転車、フライングディスクなど、利用者に希望を募り、少人数のグループで行った。
- ・運動の時間に3名ずつマシントレーニングを行い、筋力低下の防止に努めた。

③まとめ

- ・午後の活動について、運動とウォーキングをメインに行った。月に1度はマシントレーニングが行えるよう予定表を作成し、行った。
- ・君田分かれまでのウォーキングは年度の後半期はなかなか行く事が出来なかったが利用者にとっても定着しており、気分転換にもなっているので今後も継続する。
- ・体力測定は事前の準備が大変な面もあり、職員数の確保が必要となる。また、測定項目は多くはないが職員、利用者ともに理解して行う事が出来るよう説明や回数を重ねる必要がある。
- ・運動器具については利用者を決め、降雪時や雨天時に限らず使用した。利用者さんも扱い方に慣れてこられてはいるが、使用頻度は増えておらず、利用者の意識づけも上手くできていないため、期待できる効果は得られなかったように思う。
- ・サッカーや自転車など楽しんで行う利用者さんも多かった。
- ・室内での取り組みでマンダラ塗り絵以外に、計算問題や漢字の読み書きなども提供した。計算問題や漢字など、好んで取り組む方も多く、集中して取り組む時間を増やすことができた。
- ・前年度は担当の利用者に対して、個別に取り組みをする時間を金曜日の午後に設けていたが、今年度は行わなかった。

グループ活動（午前）

① 目的

- ・活動を通して日課に添った安定した生活の提供と楽しみややりがいを感じて頂く

② 内容

- ・クリーンクラブ：7名
衣類たたみ、タオルたたみ、食堂前廊下掃除、脱衣室の床拭き、生活棟の床拭き
軍手洗いと干し、洗濯室の掃除
- ・リサイクルクラブ：9名
缶のリサイクル：空き缶の収集、分別、缶潰し、売却
木工：新聞と広告の分別、和紙の型作り、段ボールの整理
- ・紙クラブ：5名
牛乳パック和紙作り：牛乳パックを洗う、切る、剥がす、契る、紙漉、細工、乾燥
新聞薪作り、ちぎる、搾る、乾燥
- ・野菜クラブ：3名
種まき、移植、野菜作り、水やり、草抜き、溝掃除

③ まとめ

- ・グループごとでの活動になったので体調不良者が多い時や利用者さんの要望（やってみたい活動）などに対応できた。
1年間、継続したことで利用者さんも落ち着いた活動への参加、意欲を感じる事ができた。
利用者さんをしっかりと見た日誌の記入や要望を取り入れた活動が行えたと思う。
来年度の目標として品質の向上と活動への喜びややりがいを感じて頂ける様な取り組みを行う。
地域と連携した製品の開発も検討したいと思う。

1) レクリエーション

①目標

- ・季節の行事－季節に応じた行事やレクリエーションを提供し、楽しみのある生活を送ってもらおう。

②内容

月	日	行事名	場所
4	10	花見会	三和町の川沿いにある千本桜を見ながら昼食を摂る。
5	2	ハイキング	雲南市掛合町の八重滝を眺めながら散策や食事を摂る。
5	8	ハイキング	高谷山をハイキングし頂上付近で間食を摂った。
5	8	バスドライブ	庄原市の岩樋山をハイキングし、道後山ロッジで入浴した。
5	26	野球観戦	三次きんさいスタジアムでカープの試合を観戦した。
6	5	果物狩り	豊平どんぐり農園で苺狩りを行った。
7	5	バスドライブ	灰塚ダム知和ウェットランドを散策した。
8	4	夏祭り	多目的棟で職員の作った焼そばを食べてミニゲームをした。
8	13	ドライブ	せらワイナリーでバーベキューをした。
9	4	バスドライブ	風土記の丘に行き、昼食を摂った。
10	11	レクリエーション	センタープレイルームで家族対抗ミニゲーム対決を行った。
11	3	藤兼祭り	地域のお祭に参加する。神輿を担いだ。
11	7	ハイキング	県立みよし公園を歩いた。
11	9	健康福祉まつり	福祉保健センターに展示してある、自分の作品を見学した。
12	4	忘年会	センタープレイルームでビンゴゲームを行った。
1	2	初詣	安芸高田市の清神社に初詣に行った。（在園者）

1	10	新年会	ココスで昼食を摂り、三良坂出雲大社分院で初詣に行った。
2	4	レクリエーション	センター大作業室でホットケーキ作りを行った。
3	5	お楽しみ会	センタープレイルームでジャンケンサーキットを行った。
3	15	やまなみ街道イベント	やまなみ街道開通イベントに参加し高速道路をウォーキングした。

③まとめ

- ・季節を感じて頂ける行事や学園生活では中々体験出来ない行事を利用者さんに提供出来たと思う。
- ・レクリエーションでは家族24名の参加があり、楽しくミニゲームに参加して頂いた。ミニゲームの内容や備品を職員全員で考えたり作成した。少し午後の予定が遅くなった為、時間不足でアンケートや終了時の表彰などが出来なかった。
- ・来年度は冬の感染症の流行する時期の外出を控えるため、外出のスケジュールを大幅に変更する。

2) 宿泊旅行

①目的

- ・小グループの旅行により、リフレッシュして日々の生活の意欲に繋げ、社会性を身につける。

②内 容

月 日	参加人数	場 所
6月11日～12日	4名	秋吉台サファリランド、美川ムーバレー
7月16日～17日	4名	鷲羽山ハイランド、吹屋ふるさと村
8月20日～21日	4名	池田動物園、最上稲荷神社
9月17日～18日	4名	MAZDA Zoom-Zoom スタジアム
10月15日～16日	2名	宮島、呉大和ミュージアム
11月20日～21日	3名	境港、湯原温泉

③まとめ

- ・起案者の方は利用者の希望を聞き楽しめる場所を探し提供できたのではないと思う。
- ・学園では見ることのできない新しい発見が多数あり職員も勉強になったと思う。
- ・メンバーによっては同じ場所でも楽しめる人と楽しめない人がいるため、行動や嗜好が似ている人を再確認した方が良いと思う。

3) 外出（半日外出／日帰り旅行／誕生者外出）

①目 的

- ・希望に添った外出を行い、安定した生活を送る。
- ・日帰り旅行は、半日では行けない場所や出来ない事などを体験し、色々な経験の場を提供する。
- ・誕生日を祝い、1対1で本人の希望に添った1日を過ごす。

②内 容

(半日外出)

実 施 日	参加人数	場 所
5月 9日	3名	島根県県民の森

6月 6日	2名	CCプラザ、三次運動公園
7月 4日	3名	カルチャーセンター（プール）
8月 18日	3名	ユニクロ、ユーホー
9月 12日	1名	サングリーン、マクドナルド
10月 3日	4名	縁側カフェえにし
11月 18日	3名	高宮湯の森、土師ダム周辺
3月 13日	3名	国営備北丘陵公園

（日帰り旅行）

実施日	参加人数	場所
5月2日	6名	八重滝
5月16日	5名	岩樋山
6月18日	3名	マツダミュージアム
7月10日	3名	広島市こども文化科学館
8月13日	6名	せらワイナリー
8月25日	3名	三瓶自然館、三瓶荘
9月29日	3名	帝釈峡
10月20日	3名	岡田牧場、宇遠木滝溪流センター
11月14日	3名	上下かかしまつり
1月23日	3名	ちゅーピーパーク
3月23日	3名	松江城、堀川めぐり

（誕生者外出）

実施日	年齢	場所
4月3日	34歳	広島城
4月16日	50歳	銭湯可部の湯
4月24日	41歳	高宮湯の森 ゆめタウン吉田
5月13日	46歳	湖畔の里福富
6月21日	43歳	奥出雲方面
7月28日	55歳	土師ダム 向原養魚場
7月31日	24歳	しまむら 君田温泉
8月3日	40歳	ひとは館 ふかわの湯
8月6日	47歳	ザ・ビッグ
8月27日	40歳	サングリーン センター和室
8月28日	35歳	イオンモール広島府中
9月19日	49歳	福山自動車時計博物館 福山市立動物園
9月20日	47歳	フジグラン東広島
11月3日	52歳	トイザラス イトウゴフク
11月24日	44歳	東広島方面
11月25日	42歳	サングリーン 帝釈峡

12月21日	55歳	サングリーン 君田温泉
1月16日	49歳	三次市市内買い物
1月14日	28歳	ゆめタウン吉田
2月6日	27歳	安佐動物園
2月24日	54歳	自宅（広島市）
2月25日	56歳	庄原かんぼの郷
3月24日	41歳	庄原かんぼの郷
	45歳	体調不良により中止

③まとめ

- ・外出の回数は全員ほぼ同じ回数にすることが出来た。
- ・自然な場所、見学、運動など個々の利用者さんに合う計画を立てることが出来た。
- ・感染症などで計画通り外出出来ない場合もあったため冬季は慎重に計画する必要があると感じた。
- ・外泊のない利用者さんが5月、8月、1月と外出出来たことは今後も続ける必要があると感じた。
- ・誕生日という特別な日を祝う為、新たに誕生者外出を設けた。事前に本人と職員と話し合っ場所や何がしたいかなどを話し合った。またマンツーマンで対応できるためかなり自由度の高い外出ができた。さらに家族とも連絡を取り合っ一緒に誕生日を祝う事などもできた。しかし、冬季に誕生日を迎える方は感染症が流行っている時期に外出が中止になったり、行き場所も限定されることもあった。このような事が来年度も予想されるので誕生者外出を存続するのか課題が残る。

5 創造活動

①目的

- ・ものづくりを行うことで日常生活では得られない喜びを味わい、日々の生活の安定を図る。

②内 容

実施日	内容
5月17日	オリジナル時計作り
6月29日	うちわ作り
7月27日	ちぎり絵
8月31日	モザイクアート
9月23日	ローケツ染め
10月26日	スケッチ
11月30日	作曲
12月23日	油性マーカー染め
3月22日	美術鑑賞（鞆の津ミュージアム）

③まとめ

- ・ほぼ月に1回のペースで行い、この時間を心待ちにしている利用者も多く見られた。
- ・各回起案職員の持ち味を出すことができた。
- ・道具類の準備不足は解消されつつあるが、段取りの悪さ、打ち合わせ不足などは依然として目立つ。

- ・利用者の集中力は徐々に向上しており、職員の話も落ち着いて聴くことが出来るようになった。
- ・利用者に対して「自由に描いて」や「自由に作って」等の声掛けでスムーズに活動出来る人は少ない為、自由に描いたり作ったりしてもらうために、どのような導入や展開を行うかが重要であり今後の課題として残る。

6 グループ会議

①目的

- ・利用者の生活向上と充実したサービスの提供を目指し、環境・個別処遇・各活動について課題を提起検討する。
- ・ケースカンファレンスを行い、支援についての意識統一と利用者に対する理解を深める。
- ・各部署との意見交換、情報交換、協議。

②内容

- 4月…クラブ活動について、日課について、朝食の流れについて、ケースカンファレンス
- 5月…部屋替えについて、食事の席について、クラブ活動について、記録について、ケースカンファレンス
- 6月…部屋替えについての検証、クラブ活動について、歯磨き支援について、ケースカンファレンス
- 7月…食堂での服薬について、入浴時の施錠について、君田分かれウォーキングについて、ケースカンファレンス
- 8月…スポレク祭について、食事のセルフについて、掃除について、クラブ活動について、ケースカンファレンス
- 9月…食事の流れについて、利用者さんの食事準備について、入浴の順番について、レクリエーションについて、文化祭、発表会について
- 10月…薬の準備について、衣替えについて、ケースカンファレンス、レクについて
- 11月…ケースカンファレンス、歯磨き支援について、居室の配置について、食時場所について、文化祭について
- 12月…出張報告、リハビリについて、ケースカンファレンス、人権について、ハウスの片付けについて
- 1月…食事摂取量について、人権について、ケースカンファレンス
- 2月…薬準備、確認について、減薬による利用者の変化（情報共有）、人権について、ケースカンファレンス
- 3月…来年度の行事について、多飲水の利用者について、ケースカンファレンス

③経過・課題

- ・グループ会議は毎月開催され話し合いの場を設けることができた。夜勤入り、明け以外の欠席者が出来ないように前もって予定を聞き会議の日を調整した。月1回顔を見ながら意見交換が出来る場だが時間も限られており結論が出ず次回への持ち越しとなることも多かった。
- ・議題の提案を早く出しそれぞれが考えをまとめて参加できるよう強く働き掛けていく。そして限られた時間を有効に使えるようスムーズな会議の進行が課題となる。
- ・利用者のより良い生活が送られるようにという職員の思いは皆同じなので、今後も活発な意見を出し合い討論出来る場にしていきたい。

7 まとめ

- ・今年度は職員の異動もほとんどなく利用者さんも戸惑いの少ないスタートとなった。午前のクラブ活動、午後からの火、木曜日は園外でのウォーキング（君田分かれまで）は継続した。月、水、土、日は運動の時間とし、マシンやグループの中で少人数に分かれ、運動のメニュー（サッカー、バスケ、自転車、ウォーキング）を行った。また、雨天時の活動としてはマンダラ塗り絵、センターウォーキングを行った。毎月の創造活動も継続し職員の個性あふれる活動内容となり利用者さんも楽しみにされていた。集中力も増し話しを聞く姿勢も向上した。宿泊旅行も今年は小グループで実施し、担当者との関わりを深めたり嗜好についても探ることができた。また、年1回の特別な日（誕生日）をお祝いするため担当者と1対1での外出を取り入れた。自分の誕生日を意識でき楽しみにされている利用者さんも多かった。しかし誕生日が冬期の方は、感染症や雪の為、行く場所や計画も限られ今後の課題となった。また、体調不良で数名参加できない人もいた。今後も行事や外出など楽しみを持って生活してもらいたい。また、個々のサービス計画が実施されるよう日課等の見直しも行き、高年齢化に伴う体力の低下や運動機能低下の予防に努め個別の対応も今以上に必要になると考えられる。

（藤田由香里、福永真也、山地恵子、掛川陽介、中岡健太郎
藤 頼久、濱本 豊、竹林祐樹、藤井 秀樹、高森 強）

5 医務

1 利用者の視点に立った医療・看護の提供

(1)安全な医療・看護の提供

- 1)安全行動を確実にする
- 2)感染予防行動を確実に実践する。
- 3)健康管理の徹底をはかる

(2)チーム医療、看護の確立

- 1)利用者家族、ともえ会の事業所、地域との連携をはかる
- 2)他職種、他部門の協働と連携をはかる

(3)利用者本位の医療・看護の提供

- 1)生活の充実とケア時間を増加する
- 2)家族と健康に関する相談等を充実する
- 3)利用者、家族参加の看護計画を充実する

(4)専門職業人としての責務の遂行

- 1)看護倫理に基づく実践・評価をする
- 2)自己研鑽をし資質の向上につとめる
- 3)新規採用者の育成につとめる

2 その他

- (1)短期入所者の地域との連携と健康管理
- (2)在庫物品の適正量と数の管理
- (3)電子カルテの開発と運用
- (4)看護組織の充実

事業報告

1 利用者、職員の定期健診・生活習慣病予防健診、特定業務従事者の健康診断

(1)利用者 70名 職員 46名 (35歳未満 15名 35歳以上 34名)

1)平成26年4月～7月まで(箕岡内科)

利用者 70名 胸部レントゲン直接撮影

職員 15名 胸部レントゲン直接撮影(35歳未満)

血液検査 視力検査 聴力検査 尿検査 身長 体重 BMI

2)平成26年4月～平成26年3月まで(箕岡内科)

利用者 生活習慣病の対象者の血液検査 3か月毎(年2回の子鹿分も含む)

子鹿医療療育センター精神科 血液検査は薬物血中濃度のみ

平成26年9月、平成27年1月、3月実施

3)平成26年4月～平成27年3月まで(各自希望健診施設で予約調整;事務部)

職員 34名 生活習慣病予防健診

4)平成26年4月～6月までの間(ともえ学園医務室)

利用者70名 便潜血 便微生物検査 尿検査 視力、聴力検査 体重 身長 BMI

職員15名 便潜血(35歳以上は除く)

40名 便微生物検査(栄養課を除く)

5)平成26年4月～平成27年3月まで特定業務従事者の健康診断

職員 32名

6)平成26年9月～平成27年3月までの間(子鹿医療療育センター検査室)

利用者38名 血液検査 半年に1回 薬物血中濃度のみ

7)平成26年9月～平成27年3月までの間(子鹿医療療育センター検査室から来園)

利用者70名 心電図検査 1か月10名ずつ

生活習慣病など健診と疾患の診療報酬上の検査の情報共有はする

診察している患者については心電図検査を施行 それ以外は他院

投薬のない利用者は検診代として学園が支払い

8)口腔健診(子鹿医療療育センター歯科)

利用者70名 6月～8月にかけて子鹿医療療育センター歯科で健診

(他新規入所者がある場合は随時入所時直近に実施)

9)感染症対策

- ・4月～肝疾患対策事業の継続 B型肝炎ワクチン接種

利用者31名 職員40名実施 平成23年7月～検査、接種、後の検査

職員には、広島県から肝炎ウイルス検査の記録カードをもらい、

HBs抗原、HBs抗体、HCV抗体検査結果をきろくし各自に渡した。

- ・5月～6月 インフルエンザ罹患者対策

- ・10月～インフルエンザワクチン接種 利用者70名 職員 希望者43名

迅速キットで以下の感染症罹患の有無を検査をして、感染の拡大を阻止する。

クイックナビーノロ2(ノロウイルス抗原キット)

インフルエンザウイルスキット(インフルエンザA、Bウイルス抗原検出)

を箕岡内科の指示で実施 感染はなし

- ・12月～ 感冒様症状で50日間終息までかかった
- ・感染制御部門としての役割を果たした

今年度は感染時期外でインフルエンザの拡大がおこった

感染症対策の徹底を図り、周知させた

10) 衛生推進者としての役割として新規入職者に

- ・健康教育、労働衛生教育を行った

アルコール依存とニコチン依存について来年度2回目を実施予定

2 受診

(1) 三次市内の病院、診療所での定期・臨時・緊急受診 他広島市

- 1) 緊急的に治療を必要とする利用者の受診を優先した
- 2) 疾病予防の観点から早期受診、早期治療、早期回復を目指した
- 3) 内科、外科、精神科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、アレルギー科 など 特に高齢、重度化と生活習慣病対策を念頭に実施した

4) 嘱託医

脳神経内科 子鹿医療療育センター 吉長元孝医師 (週1回 曜日特定できず)

内科 医療法人 源仁会 箕岡内科医院 箕岡康明医師 (2週間に1回 水曜日)

平成24年6月13日初回 3月27日 年度末最終で 計29回

平成25年4月～平成26年3月年度末まで

平成26年4月～平成27年3月年度末まで

将来的にも施設に於ける終末期医療が可能となる基盤ができた

5) 歯科 子鹿医療療育センター 歯科安井良一医師 (毎週火曜日10時～12時)

5名ずつ 口腔健診と日々の口腔ケアに基づく情報管理から計画的に受診をした結果、齲歯(むし歯)の治療は終了した。

予防歯科を目標に口腔の健康に平成22年7月から23年ともに口腔健診を年2回、平成24、25年度は1回、26年度は70名が子鹿医療療育センター歯科に行き、6月～8月までの間、口腔健診を実施、予防的な事業に入ることができて歯垢・歯石除去、義歯などの作製、全般的な口腔の健康について細部に亘るケアを可能とした。また、摂食外来に1名受診した。

3 保健・医療・看護・福祉サービスに関する連携、継続ケア

(1) 患者の権利 (リスボン宣言) の認識と擁護と責任、延命医療、リビングウイルについて考え、実践することを目的として常に利用者の幸福を考える。

- 1) 良質の医療を受ける権利…
- 2) 選択の自由…
- 3) 自己決定権…
- 4) 意識喪失者患者の代理人の権利…
- 5) 法的無能力者の代理人の権利…
- 6) 患者の意思に反する処置…
- 7) 情報に関する権利…
- 8) 守秘義務に関する権利…
- 9) 健康教育を受ける権利…
- 10) 尊厳性への権利…

11) 宗教的支援を受ける権利…

今と今後の人生への希望、思いと終末期医療に関する考えについての利用者の親等からの意見をもらったが再度確認し、今後を考える必要がある。

(2) 利用者の個人ファイルの整理が必須作業であるから以下を実施途中である。

- 1) 既往歴・現病歴・生育歴・生活歴・入院歴・経過記録など基本情報とその他
- 2) 健康管理票の更新 中間サマリー 紹介先への提出情報の作成と更新
利用者家族への 年1回以上の提出
- (3) エビデンスに基づく精神科看護ケアの実践ができるようにつとめた。
 - 1) 精神の健康・不健康の連続性のどの時期にある対象にも看護を提供する。
 - 2) セルフケア能力を判断して必要なケアを計画する。
 - 3) コミュニケーション技術を駆使して相談にのる
 - 4) 人権を守る役割をする。
 - 5) 利用者と家族の教育者としての役割を担う
 - 6) 医療チームの調整者としての役割を担う
 - 7) 病院、地域との連携と継続ケアの担い手として利用者のケアを連続的に整えた。
個別性、事例性、標準的な考え方で精神科にかかわる症状・疾患について誘因・原因からメカニズム、看護ケアまでを図式化した関連図ガイドを活用した。
- (4) エビデンスに基づく精神科医療、治療に伴う看護の実践キーワードからできうる限りの実践が可能となるようにつとめた。
 - 1) DSM-IV-TR (DSM-Vへ) ICD-10 診断基準など評価と検査
 - 2) 薬物療法症状から専門的受診を予約し症状改善を図った。
 - 3) 応用行動分析(ABA) TEACCH 補完代替療法行動療法
ソーシャルスキル療法、言語、治療などの実践ができる環境設定を図ることを提案する。認知機能低下対策の実践など。
- (5) 具体的な看護介入の実施をして、日常生活(人生、命)の質の向上を図り、改善をした。
 - 1) バイタルサインのチェック症状チェック、経過観察
 - 2) 受診判断と受診 治療、処置の実施、周知
 - 3) 与薬管理、医薬品管理、医療機器管理の実施
 - 4) 個別リハビリテーション運動、言語、術前・術後の対策、脳活性化プログラム、多飲水の教育指導プログラムと実施
 - 5) フットケア スキンケアの実施と評価の結果今後の対策の実施
 - 6) 口腔の健康 口腔ケア 歯科受診 予防歯科 周知と実践についての共有と実施
 - 7) 運動器の機能向上の実施 マシン等の活用についての提案
 - 8) 栄養改善に関する医療上の栄養評価のデータの共有
 - 9) 閉じこもり予防 認知機能低下予防 うつ予防対策
 - 10) 難病対策 平成25年4月1日障害者の範囲に加えられた。現在既に対象者がおり総合的に支援をしている。
 - 11) 肝疾患対策 上記項目のB型肝炎対策から将来的に肝癌死亡率の低減を図るため方策をとる。ひろしま肝疾患コーディネーターとして定期的な研修を受け、肝疾患治療の制度改正及び肝炎の治療状況等把握し、現場に役立てた。
 - 12) 癌予防対策 検査等が普通に困難な状況の利用者に対する検査のありよう15) の生活習慣病予防対策の徹底をはかるため受検後のフォローをした。
検査などの施行に関して障害特性から今後の対策を講じる必要がある。
 - 13) 感染症予防 日常清掃、特別清掃、除菌、消臭などの環境衛生、手段と方法を共有し、大きな

感染症拡大阻止につとめた。

- 14) 知的障害、自閉症、統合失調症等に伴う 行動障害（強度行動障害）の必要な医療情報等により 専門的医療、支援が必要な利用者のリストアップから医療領域での解決をはかった。多飲水プログラム等。
- 15) 利用者の生活習慣病予防対策は職員と同じ検査項目は難しいが、より近いものを医師に相談をしてとった。
- 16) 排泄リハビリテーションの必要性は排泄傷害「適切な排泄行為をしない(意識する、しないにかかわらず)」利用者が多いため、リストアップをして対策準備をした。
- 17) 以上の必要項目のガイドラインの作成をして後に使えるものとするため準備をした。
- 18) 次年度に向けての看護、支援の教育計画書（医療上必要事項）を作成準備をした。

4 知的障害、自閉症、精神疾患等を持つ利用者の医療・看護・支援体制から

サービス担当者会議を通して利用者中心の質の高いサービスを提供するためのケアマネジメントの大切さを周知させ利用者を理解するためのアセスメントを作成しより進化させるものの提案をする。8領域に分けて評価表に記載し、レーダーチャートで実態を把握でき、計画に生かせるものとしたものを再度検討した。

また、23項目のアセスメント、支援計画書（1）（2）の記載方法も示し、ケアマネジメントの一連の実務方法と手順をマニュアル本として作成した。

1. 日常生活（ADL）①食事 ②排泄 ③着脱衣 ④洗面 ⑤入浴 ⑥睡眠 ⑦移動 ⑧身だしなみ(整容) ⑨整理・整頓
2. 健康・安全 ①病気やけがへの対応 ②危険に対する理解
3. 社会性（人との関わり）①情緒 ②意欲 ③人間関係 ④社会規範 ⑤集団参加
4. 社会生活技能 ①家事全般 ①-1炊事 ①-2洗濯 ①-3掃除 ②生活機器 ③地理感覚 ④時間の理解 ⑤金銭の使用 ⑥交通機関
5. コミュニケーション ①伝える・話す ②理解する・聞く ③挨拶・返事 ④読む・書く
6. 日中活動 ①作業・仕事 ②役割 ③余暇
7. 社会参加 ①社会参加
8. 行動障害 ①障害程度区分・認定調査項目から ② 強度行動障害

今後はフェイスシートがないに等しいので新たに作成をすること、アセスメントより使いやすいものに改善していくこと。

- 5 その他 昨年度の全国大会への報告として医療、保健、看護から情報を提供しての作成分は新人職員の教育に使った。

6 職員の学びについて

- 1) 発達障害に関する6か月の自己の学びを通して、支援員に必要な教育を研修報告としてまとめて報告会で発表してもらった。
理論に裏付けた発達障害を持つ人の3ケースをライフステージに応じた望ましい支援方法を考え、実践報告と今後のあり方について提案した。
- 2) 心肺蘇生法C A B + Dカードを広島県医師会地域医療課から職員45名に配布した。日々の救急に関心を持ち、救える命を救うためにと題し、職員研修の実践編に加わった。救急蘇生の

方法等とてんかんの病態等のDVDを提供した。

3) 看護部教育、支援教部育計画を企画立案準備中である。支援部には提案する予定である。

(坂本 宏子)

6 栄養食生活

1 はじめに

衛生管理に留意しながら利用者の嗜好の尊重、旬の食材の利用や暦の行事食の取り入れによる季節感のあるメニューの提供、また多彩な強化磁気食器を使用し、個々に応じた細やかな配慮のある食作りに努めた。

2 栄養量

生活活動強度は「やや低い」を用い、常食の目標量と実質摂取量は次の表のとおりであった。

	目標量	実質摂取量
エネルギー (kcal)	2,350	2,399
たんぱく質 (g)	76.0	81.7
脂質 (g)	57.0	64.1
カルシウム (mg)	600	651
鉄 (mg)	7.5	11.2
ビタミンA (IU)	2,500	2,564
ビタミンB1 (mg)	1.11	3.50
ビタミンB2 (mg)	1.23	1.34
ビタミンC (mg)	100	157

3 栄養ケアマネジメントの実施

障害(児)者が自立して快適な日常生活を営み、尊厳ある自己実現をめざすためには、障害(児)者一人ひとりの栄養健康状態の維持や食生活の質の向上を図ることが不可欠であることから、個別の栄養健康状態に着目した栄養ケアマネジメントを実施し、アセスメント、栄養ケア計画書の作成、3か月毎の再スクリーニング、モニタリングを行い栄養健康状態の維持や食生活の質の向上に努めた。

4 療養食

糖尿病食・肝臓病食・胃潰瘍食・脂質異常症食・痛風食・腎臓病食・貧血食を利用者の病状に応じて提供した。

5 食事形態

常食・ひと口刻み食・刻み食・ペースト食を利用者に応じて提供した。

6 誕生日お祝い

利用者誕生日には、お祝いとしてコーヒーゼリー、プリン等デザートを作成し提供した。

7 間食

間食は、全グループ統一して午後に提供した。

月1回月末には、学園で収穫した野菜等を使用して手作り間食を提供した。

4月：「いちごババロア」

5月：「フルーツサンドイッチ」

6月：「サイダー割梅酒ゼリー」

- 7月：「ずんだ餅」
- 8月：「ミルクゼリーピーチソースかけ」
- 9月：「南瓜ケーキ」
- 10月：「スイートポテト」
- 11月：「人参蒸しパン」
- 12月：「ギョウザ皮のフルーツピザ」
- 1月：「パンプディング」
- 2月：「煮りんご入り米粉焼き菓子」
- 3月：「コーヒープリン」

8 正月料理

元旦昼食に雑煮、そしてお節料理を正月三が日提供した。

9 業務用自動炊飯器の導入

7月末に業務用自動炊飯器の導入し、米の計量、洗米、炊飯を機械化することで、業務の効率化を図り、8月17日から夕食も温かい副食、汁物を随時に食堂カウンターから提供を開始した。3食を食堂にて随時に提供し、サービス向上に努めた。

(後田喜代子)

7 事務

1 目標

- ①事務の正確かつ迅速な処理を行い、学園内外の連絡調整を緊密にし円滑化する。
- ②外来者に対して常に明るく笑顔で接し、適切且つ迅速な応対に心がける。
- ③電話対応では明確な応対に心がけ、速やかにかつ丁寧に対処する。
- ④必要な情報の共有と公開を積極的に行い、円滑な事業の推進に寄与する。
- ⑤OA機器の活用を推進し、業務省力化を図る。

2 内容

①事務

- ・ 支援費の請求、窓口での受付、入退所手続き、療育手帳・保険証・重度障害者医療受給者証・自立支援医療受給者証の管理、各種印刷物の作成、行政機関との連絡調整、その他

②庶務

- ・ 文書收受・発送、福利厚生、パソコン・プリンター・コードレスホンの管理、その他

③経理

- ・ 財務会計処理、利用料等の請求、親の会会計、親睦会の会計、物品購入、職員給与計算、調査統計、出張命令稟議書の作成、その他

3 まとめ

上記の業務については社会福祉法人ともえ会の諸規程、ともえ学園内規を基本として日々行った。これからも原理原則を基本に、利用者、利用者家族、職員に信頼され、厳正でかつ平等に日々遅滞なく確実に遂行していきたい。

(高田孝康・加藤真由美・清政圭子)

8 防災管理

1 目的

- ・災害発生時は、速やかで適切な対応となるよう危機管理体制を充実させる。
- ・消防訓練を反復し疑似体験を積むことを重要とし訓練を積む。
- ・緊急時への対応能力向上を図る。

2 新任職員対象の防災研修会の実施

1) 研修内容

①利用者不明時の対応

日勤帯、夜勤帯の連絡方法など

施設個所の確認

危険物の取り扱いと理念

日常的な利用者の所在確認と要注意事項

②消防関係：「防災マニュアル」を資料として基礎知識を習得

消防設備及び施設設備を実地見学

③AED、人工呼吸器、吸引掃除機の設置場所、操作説明

3 緊急時の対応

「吸引掃除機」を食堂の手洗いの下に、いつでも使用出来る状態で保管、点検を随時実施。

「人工呼吸器ユニット118番」と「AED」は職員室と医務室に常置し、随時所在やバッテリー状況を確認する。

4 消防訓練実施状況（◎は防災リーダー）

- ① 4月17日 木曜日 昼間の総合訓練 訓練者：◎久保課長・全員
- ② 5月10日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎圓藤・堂西・高森
- ③ 6月23日 月曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎今田・川本・藤
- ④ 7月25日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎竹林・見土・高場
- ⑤ 8月22日 金曜日 消防署立ち会い夜間想定総合訓練 訓練者：◎中岡・若床・渡邊
※消防署へ消防訓練実施計画書提出
- ⑥ 9月12日 金曜日 昼間の総合訓練 訓練者：◎藤田課長・全員
- ⑦ 10月10日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎熊澤・魚見・山地
- ⑧ 11月15日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎林 ・竹間・藤井
- ⑨ 12月12日 金曜日 夜間想定総合訓練 体調不良の利用者さんが多く中止。
- ⑩ 1月21日 水曜日 昼間の総合訓練 訓練者：◎後田課長・全員
- ⑪ 2月20日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎穂登原・中野・濱本
※消防署へ消防訓練実施計画書提出
- ⑫ 3月14日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎福永・瀬戸・圓藤

5 消防設備点検

年2回実施 平成26年9月・平成27年3月 専門業者に委託し実施。

6 消火器の更新

9月に、10型を15本・20型を1本更新した。

7 その他

- ・10月、消防署職員2名の方が立入検査に来園された。
- ・今年度より三次消防署長への「消防訓練実施結果報告書」は不要となり、訓練終了後は、「消防訓練実施結果記録表」を作成して3年間保存する事に変更となった。

9 安全運転管理

1 目標

- ・交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守と人に優しい交通マナーを実践し交通事故、交通違反を防止する。
- ・車輛の点検、整備を実施し車輛の故障、整備不良による事故が発生しないよう注意する。

2 内容

- ・トライザセーフティinひろしまへ9チーム参加
- ・安全運転管理者講習会への参加
- ・安全運転啓発の図書、幟を掲示
- ・車輛の入れ替え（マイクロバス）
- ・各季の交通安全運動の周知
- ・車輛の点検、整備を業者に依頼

3 まとめ

- ・トライザセーフティinひろしまへ参加した9チーム中6チームが、150日間無事故、無違反を達成する事ができた。3チームが目標達成出来なかったが、これは毎日の安全運転啓発が足りなかったことも関係していると言える。全チーム目標達成出来るよう、安全運転を徹底する取り組みを考えたい。
- ・定期的な車両点検を実施し、今後も整備不良による事故が発生しないよう注意をしたい。

(塚本博志)

10 危険物取扱者

1 概要

地下タンク貯蔵所の灯油漏れを未然に防ぐため法律で定められた点検を定期的に行っている。

2 内容

毎月、掲示板、漏油検知管、通気管、消火器の有無等の点検を行った。

1月には危険物取扱者保安講習を受講した。

(後田喜代子)

11 運営会議

実施概要

- ・園長、次長、全ての部課長の8名で構成され、毎月、月初めに開催し協議した。
- ・会議では、利用者主体の指針を見失わないように、問題提起、課題検討、日程調整等を行い、施設のより円滑な運営と利用者サービスの向上を目指した。
- ・資料など、紙は一切使用せず、プロジェクターを利用して、随時必要な情報はインターネットからも収集し会議を進めた。
- ・会議後は速やかに運営会議録をまとめ、即日、全員に周知した。

(高田孝康)

12 朝礼

実施概要

- ・夜勤者以外の全出勤者が職員室に集まり、9時より実施した。
- ・開会挨拶、服装と身嗜みのチェックから始まり、各グループ、全体係、その他からの報告、予定などの報告、出勤職員の体調状況の報告、笑顔の練習、最後に閉会挨拶で終了する。
- ・毎月9日にはAEDと人工呼吸器のチェックを行った。
- ・発表者の声の大きさやマイクの位置などを再確認し、さらに聞き取りやすい環境を整えていく。

(高田孝康)

13 園内行事

一年を通して季節を感じる行事など、全体で参加出来る行事として毎月学園内で計画を実施した。

1 花まつり

①日時 平成26年4月8日 火曜日 10時15分～11時15分

②場所 療育センター・プレイルーム

③内容 利用者70名 係長：渡邊 係：川本・高森

花御堂、焼香台を設置。利用者さんは、入場時に廊下で花を受け取り、花御堂の屋根に花を飾り付けられました。利用者代表の方がお焼香を行った後、全員が順次誕生仏へ甘茶を掛けられました。最後に甘茶を全員で頂きました。

2 母の日感謝祭

①日時 平成26年5月11日 日曜日 14時5分～14時45分

②場所 療育センター・プレイルーム

③内容 利用者70名 短期入所1名 係長：熊澤 係：上川・掛川

母の日感謝祭では、母の日の始まりについての説明があり、利用者の皆さんはメッセージカードを作成されました。色々な形のカーネーション、スタンプ、シール、クレヨン、色鉛筆等が用意されカラフルなメッセージカードが出来上がっていきました。

※出来上がったカードは5月の親の会行事の時に披露されました。

3 草刈り

①日時 平成26年 6月9日 月曜日 7時～11時

②場所 学園下の法面・県道39号線・水路沿い山側・FOX周辺・神野瀬川水源井戸周辺

③内容 職員6名 係長：高田次長 草刈り …熊澤、魚見、竹林、高田
草集め …竹間、圓藤、藤

6月6日(金)準備 担当：藤、高田次長 必要物品の確認と準備を実施。

当日は、予定場所を草刈りしFOXまで移動。草集めは、ともえ学園入口の看板より作業開始。溝に落ちた草上げと、刈られた草を山に寄せていった。FOX周辺の草刈り、神野瀬川水源井戸周辺の草刈り後、用具を片付けて終了した。

4 父の日感謝祭

①日時 平成26年6月15日 日曜日 13時50分～14時50分

②場所 療育センター・プレイルーム

③内容 利用者69名 短期入所者1名 係長：藤井 係：若床・中野

父の日の由来について説明後に、ご家族へのプレゼント用として栞の作成に(トライアングルは色紙をちぎり貼り付ける。レインボーは現在作っている押し花を貼り付ける。はなまるは絵や文字を書く。)取り組まれました。

5 七夕祭り

①日時 平成26年7月7日 月曜日 14時00分～15時00分

②場所 センタープレイルーム

③内容 利用者70名 短期入所者1名 係長：堂西 係：岩戸・山地

司会者より七夕の由来についての説明がされた後、短冊の作成、飾り付けをした。プロジェクターで七夕の映像が流れ、最後には記念撮影や「七夕の歌」を合唱した。

6 アコーディオン演奏会

①日時 平成26年8月7日 木曜日 14時00分～ 15時00分

②場所 療育センター プレイルーム

③内容 利用者70名 係長：濱本 係：藤・今田

手拍子で演奏者をお出迎えし、演奏される曲に合わせてスクリーンに歌詞が流し出された。演奏者の方は、懐かしい曲を披露されたり、リクエスト曲もありをアコーディオンの音色を楽しんだり、一緒に歌ったりと楽しむ事ができた。

7 物故者追悼式

①日時 平成26年8月8日 金曜日 10時15分～11時00分

②場所 療育センター プレイルーム

③内容 利用者70名 係長：若床 係：桑田・中岡

物故者紹介、黙祷、追悼の言葉、献花、献歌、閉会。今年度は、献花の花を白に拘らず、黄色やピンクの小菊を使用した。利用者さんも落ち着いて参加されていた。

8 大掃除・ワックス掛け

大掃除

①日時 平成26年8月11日 午前9時30分より

②場所 ともえ学園

③内容 出勤職員全員 係長：圓藤 係：荒瀬・竹林

学園内の大掃除とワックス掛けを作業順序に沿って実施されました。子鹿医療療育センターより受け入れた2台の床洗浄機も吸水用として使用した。各作業が終了時にチェック表（ドアに貼る）に済んだことが解るようにサインをして効率的に作業は進んで行った。係の3名と追加3名の職員が1時間の時差出勤で物品移動など作業に取り掛かる準備をした事もあり、スムーズに作業を行えました。

9 全体活動

①日時 平成26年8月11日 月曜日 9時10分～15時30分

②場所 療育センター

③内容 参加利用者43名 係長：林 係：穂登原・藤井 職員：10名

生活場所の大掃除の日、利用者さんは2班に分かれ午前と午後にドライブ（折り紙博物館のこぶしの森体験の館）と療育センタープレイルームでDVD鑑賞実施した。

※清掃作業終了後、生活棟へ移動

10 スポレク祭

①日時 平成26年9月20日 土曜日 10時30分～14時40分

②場所 グランド・多目的棟

③内容 利用者70名、53家族81名、職員 係長：菅原 係：竹間・福永

フライングディスク、グランドゴルフ、サッカーをご家族も一緒に参加してもらい楽しんでいただきました。午後からは河原田講師の指導で健康体操が行われました。日頃よりともえ学園で取り組んでいる健康体操を披露する場にもなりました。最後に、利用者4名職員4名によるグループ対抗リレーで盛り上がり、参加者全員を対象としたスポレク祭は終了しました。

11 収穫祭

①日時 平成26年10月31日 金曜日 14時00分～15時00分

②場所 多目的棟

③内容 利用者70名 係長：福永 係：荒瀬・高場

予定としては外宮周りでの行事予定でしたが、予定時間前に雨が降り出し急きょ、外宮を多目的棟へ移動し利用者さんが全員座って周りを御神輿が回れるぐらいのスペースをとり収穫祭は行われました。トライアングルの御神輿が新たに作成され一層賑やかな祭りとなりました。神主の衣装を係が着用して一層雰囲気も出ていました。一年の豊作に感謝し、実りの秋と収穫に感謝しました。

12 文化祭

①日時 平成26年11月12日 水曜日 10時00分～15時00分

②場所 センター、多目的棟

③内容 利用者70名 係長：藤 係：熊澤・渡邊

食文化コーナー、アートコーナー、展示コーナー、スポーツ体験コーナーに分かれ、利用者さんは全コーナーを楽しんで回られました。また、プレイルームでは、庄原奇術会の方による手品もありました。多目的棟で行われたスポーツ体験コーナーでは、広島県障害者スポーツ交流センター おりづるより職員の方に来園頂きディスゲッター、ビーンボウリング、フットサルゲームの内容で体験をさせて頂きました。

13 クリスマス会

①日時 平成26年12月25日 木曜日 10時00分～11時00分

②場所 センタープレイルーム

③内容 利用者68名 係長：今田 係：瀬戸・掛川

開会挨拶後、利用者代表によるツリーへの点灯がありました。クリスマスの由来についての映像がスクリーンから流れました。2名の利用者さんがサンタクロースの衣裳をつけて会場に登場、皆さんにお菓子を配られました。シャンメリーでの乾杯もありました。

体調不良者9名おられました。少し離れた座席を用意し、別テーブルを設ける事で参加する事が出来ました。

14 餅つき

①日時 平成26年12月28日 日曜日 10時00分～11時30分

②場所 療育センター プレイルーム

③内容 利用者70名 係長：見土 係：林・高森

ブルーシートを敷き、石臼と杵が設置され実施されました。12月に入り、風邪症状で個室対応の方が多かった為、急遽グループ毎での餅つきに変更となりました。2日前からセンター宿泊室で餅米を洗米し浸しておき準備、当日餅米は蒸され、餅つきの希望者を募って利用者の方と職員とで行われました。餅をつく度に大きな掛け声が景気よく出ていました。

15 大掃除、ワックス掛け

①日時 平成26年12月30日 火曜日 午前9時30分より

②場所 ともえ学園

③内容 出勤職員全員 係長：圓藤 係：荒瀬・竹林

前回課題になっていた食堂の汚れについて、事前に湯をまいていたため以前に比べると比較的汚れが落ちていた。今回事務室のワックス掛けを行うが、作業終了後に酷くムラがあり施行のやり直しが必要だった。乾きをよくするために大型扇風機（三共リース）を使用した。天候にも恵まれ、全体的にワックスの乾きが良くスムーズに進める事ができた。

16 全体活動

①日時 平成26年12月30日 火曜日 9時10分～15時30分頃まで

②場所 療育センタープレイルーム・大作業室・宿泊室・遊歩道

③内容 利用者 39名 係長：高場 係：川本・山地 職員 9名

利用者さんはカラオケ・映画鑑賞、午後からは遊歩道の散歩にと出掛けられ皆さん落ち着き、のんびりと過ごされていました。はなまる利用者さんはセンター宿泊室で活動等をされる事もありました。

※清掃作業終了後、生活棟へ移動

17 平成26年度年間報告

①日時 平成26年12月30日 火曜日 係：高田次長

②内容 報告者：各部所部課長 親睦会長－掛川

年間報告として、各部所より400字程度の報告文を提出しメッセージが集約され、園長より総括とともに職員全員へサイボウズで周知されました。

18 職員年賀式

①日時 平成27年1月6日 火曜日 9時～9時5分

②場所 ともえ学園 職員室

③内容 早出、日勤職員全員 20名 係：高田次長

会議室の演台側を正面とし、朝礼の要領で整列し朝礼の前に実施され次長が進行。園長による年頭の挨拶、年男・年女4名の職員による今年の抱負があり、健康と幸せを祈念して全員で乾杯・拍手し閉会。終了後、司会を朝礼司会者に引き継ぎ、朝礼を開始しました。

19 年賀式

①日時 平成27年1月6日 火曜日 14時00分～15時00分

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者70名 係長：穂登原 係：上川・竹林

プレイルーム前では神主に扮した職員が紙垂で1人ずつ祓い、巫女に扮した2名の職員も配置されました。装飾はセンター廊下から始まり、利用者さんの書き初めや雅楽の音を入れながら地域の獅子頭を借りて獅子舞の披露もありました。園長による年頭挨拶、年男、年女となる利用者さんの抱負並びにグループ毎の抱負、鏡開き、桜茶での乾杯がありました。厳格な式を行うことで新たな気持ちで一年のスタートとなりました。

20 とんど

①日時 平成27年1月15日 木曜日 10時30分～11時30分 14時30～15時10分

②場所 駐車場裏空き地

- ③内容 利用者70名 係長：岩戸 係：藤本・中岡

前日より竹を組み立てられた。はなまる利用者さんが活動で作成された紙巻き（新聞紙）も使用し準備は整っていましたが、当日になり雨が降り急遽お昼から点火する事に変更となりました。年男、年女の利用者さんと職員が点火が行われました。他の利用者さんは各グループに分かれセンター室内で見学し、とんどの火を見ながら一年間の無病息災を願いました。

とんどで焼く予定だったお餅は厨房で焼くこととなり竹酒の提供と一緒に食堂で配られました。

21 節分祭

- ①日時 平成27年2月3日 火曜日 14時00分～14時50分

- ②場所 療育センター プレイルーム

- ③内容 利用者70名 係長：荒瀬 係：桑田・山地

節分祭の由来がスクリーンに流れ、職員と利用者さんにより説明されました。続いてゲームの説明があり、新聞紙を丸めて作ったボールや風船を病気や事故にみたてた「鬼」と見立て、利用者さんは新聞紙で作った棒でボールを打ち返されました。中には福も入っており福はキャッチしグループで合計いくつキャッチできたかという内容のゲームでした。楽しい進行により掛け声等が良く出て盛り上がり楽しい時間となりました。

22 音楽祭

- ①日時 平成27年3月12日 木曜日10時00分～15時00分

- ②場所 療育センター プレイルーム

- ③内容 参加利用者70名 係長：魚見 係：見土、高森

午前中は、各グループの出し物が披露され、フリーカラオケがありました。午後からは三味線演奏者の河野一志さんをゲストに招き、津軽三味線solo演奏がありました。演奏後には利用者代表の方によるお礼の言葉と花束贈呈が行われ無事に終了しました。

(宮崎静美)

14 対外行事

他施設や地域の方々との交流や親睦を図りながら、地域社会の理解を深める事を目的に実施。

1 広島県西部地区知的障害関係施設親善球技大会

- ①日時 平成26年5月18日（日）10時00分～15時30分

- ②場所 吉田運動公園 グラウンド、体育館

- ③内容 参加利用者20名 職員9名 係長：藤 係：魚見・竹間

卓球（2名）・ゲート通し団体3名1組（15名）・フライングディスクアキュラシー（3名）。残念ながら良い結果とはなりませんでしたが、皆さん楽しんで競技をされていました。今回は北部圏域が引受と言う事で、ともえ学園はゲート通しを担当し組み合わせを決めました。

2 障害者フライングディスク競技大会 in みよし

- ①日時 平成26年8月3日 日曜日 10時00分～15時30分

- ②場所 みよし運動公園テニスドーム

- ③内容 はなまる利用者（12名） 支援職員 3名

アキュラシー7m（一定の距離に置いた輪に10投し通過した枚数を競う）、ビンゴゲームに参加されました。当日は雨に見舞われテントを張れる状態ではなく昨年同様、施設通路の一番奥にスペースをとりました。開会式から今回出場のアキュラシー7が始まるまでは待ち時間が

あり時間が読み辛い所もありました。実際に競技が始まるが年代別にグループ分けされ、ともえ学園は10・20・30代の部、40代の部、50代の部に出場しました。40代の部は全員ともえ学園のメンバーでした。

結果：10・20・30代の部 3位1名 記録賞2名、40代の部 優勝1名 2位1名 3位1名 記録賞4名、50代の部 3位1名 記録賞1名と好成績をおさめられました。

3 第11回三次健康福祉まつり

①日時 平成26年11月9日 日曜日 9時30分～15時00分

②場所 三次市福祉保健センター ふれあいセンターみよし内

③内容 はなまる利用者(12名) 準備担当者 濱本・宮崎

前日、福祉保健センター1Fロビーへ集合し、全体の会場設営準備(パネル・長机・椅子等の運搬、テントの設営)を実施。ともえ学園の展示作品は、はなまるグループの利用者さんが、創造活動の時間に作成した作品で、当日は、午前、午後分かれて見学にいかれました。

(宮崎静美)

15 外泊

1 ゴールデンウイーク外泊 4方面(広島、福山、呉、大竹)に車両を運行

送り…4月29日 火曜日 迎え…5月5日 月曜日2回、外泊のための車両を運行した。

外泊者数40名(療育センター宿泊利用1名) 学園車両使用者数：送り29名・迎え26名

2 お盆外泊 4方面(広島、福山、呉、大竹)に車両を運行

送り…8月10日 日曜日 迎え…8月17日 日曜日2回、外泊のための車両を運行した。

外泊者数36名(療育センター宿泊利用1名) 学園車両使用者数：送り24名・迎え26名

3 お正月外泊 4方面(広島、福山、呉、大竹)に車両を運行

送り…12月29日 月曜日 迎え…1月5日 月曜日2回、外泊のための車両を運行した。

外泊者数33名(療育センター宿泊利用1名) 学園車両使用者数：送り26名・迎え23名

4 まとめ

広島、福山、呉、大竹方面への送迎を実施。送迎車両をご利用されない方の外泊については、随時ご家族の希望日に外泊を実施した。外泊日時変更の方がおられました。皆さんの協力により直ぐに対応することが出来た。また、車輛利用人数の減少による迎えの変更にも対応して行った。お盆の外泊では大型台風の接近により外泊送迎前日、外泊される各方面のご家庭に電話を発信し台風が近づいている事で連絡先の確認をした。車輛運行出来ない場合はご家族に、引率職員から連絡する事をお伝えした。

外泊送りの時に外泊連絡票が渡せていなかった事や、健康管理表を間違えて入れていた事もあり、ご家族には詫びをしてお許しを得た。変更に伴っての柔軟な対応とマニュアルに沿った対応で、無理のない外泊になるよう進めて行きたいと思う。

(宮崎静美)

16 人権委員会

1 年間目標

- ・利用者、職員同士においても人権侵害、暴力、暴言は絶対に行わない。
- ・体罰を用いた支援を絶対に行わない。
- ・礼節ある言葉遣いとプライバシー保護への配慮をする。

- ・専門職間の相互支援により、孤立を予防する。

2 具体的重点目標

- ・利用者の呼称は「さん」付けで統一する。
- ・上下関係での叱責語・命令語及び乱暴な言葉は使わない。
- ・高圧的で威嚇するような働きかけはしない。
- ・利用者に対する人権侵害が起きる前段階で、職員同士で声を掛け合い侵害を未然に防ぐ。
- ・「振り返り」を行う事で、支援の見直し、質の向上に取り組む。

3 取り組み

- ・月毎に1ヶ月の支援方法についての振り返りをし、各職員に各グループの定例会議または施設内メールで発表してもらおう。（何に気をつけていたのか、どの程度実施できたか、次月へ向けての目標等）

※振り返りをしてもらった中や普段の業務を人権係でも振り返り人権啓発活動を随時考えていく。

◇毎月、月末に人権尊重の好事例等を紹介する。

紹介者：7月…竹間、9月…岩戸、10月…藤、11月…岡下、12月…宮崎支援部長
1月…竹間、2月…岩戸、3月…藤

4 まとめ・今後の課題

毎月各グループで支援方法についての振り返りをしてもらい、次月へ向けての目標立てをしてもらうようにしていたが、できていない月も有った。毎月実施して意味をなす事で他の職員への説明不足が感じられた。好事例の発表に関しては、遅れながらではあるがほぼ毎月でき、少しでも人権意識が向上されたのではないかと思う。しかしまだ徹底出来ていない部分もあり、今後も職員全体で定期的に啓発活動に取り組んでいく必要がある。また、人権啓発するポスターを掲示する予定であったが、取り組めなかったことは反省であり、課題である。

（竹間和輝、宮崎静美、岩戸洋三、藤 頼久、岡下チエミ）

17 午前日課

目的

- ・個々に合った活動を取り入れることにより張りのある生活へ繋げる。
- ・達成感や楽しみを感じてもらえるように活動の内容を工夫する。
- ・天候不良時はマシンや用具を使用し機能維持の運動を繰り広げる。

※個々に合った活動を考えグループ分けをしたが、同じグループの利用者が多く、職員配置、や体調不良者が出た場合、他のグループの利用者さんの活動も中止になるなど3グループ合同での活動が難しくなった。

そのため、グループ毎の活動に変更となり、午前日課係は5月で廃止となった。

（宮崎静美）

18 運動マシン

1 目的

メニューの企画とマシンの保守管理

2 内容

- ・トレーニングルームの掃除と点検は定期的に行った。
- ・マシン系の職員は全員マシン操作実技講習に参加した。

- ・アンケート調査（全グループ利用者）を行い個人のレベルを計った。
- ・各グループで利用者の必要に応じて行った。
- ・マシンの操作を理解できた方、できなかった方でグループ分けを行った。
- ・マシン運動は各グループごとで設定し行った。
- ・バイタルチェックを開始終了後に行い利用者の観察を行った。
- ・バイタルチェックのマニュアルの冊子を作成した。
- ・全グループで対応できるセンター2階での早足5m歩行テストの準備をした。
- ・マシンができない方でもバイクを上手く利用することができた。

3 課題・まとめ

- ・全体的にマシンを使用する時間が少ない。
- ・マシン操作ができない利用者のバックアップを考えなければならない。
- *（例）利用者1～2名で職員1名対応する小グループにする。
- *（例）上記施行でトライとレインボーが時間を合わせ合同で行う。
- ・日課に取り入れて作業を行えば職員の確保ができる。
- ・拒否、興味が続かないなどマシントレーニングの実施自体が難しい利用者が多く効果的に実施する為の工夫が必要だった。
- ・マシン操作の困難な利用者には負担（距離や時間では無い）をかけたウォーキングに参加してもらう。

（穂登原亮介、渡邊 武、竹林祐樹）

19 入浴

1 取り組み

- ・利用者が安全で安心して使用できる浴室の環境整備や管理を行った。

2 内容

- ・シャンプー、ボディソープ、バスマジックリンの資材が不足しないよう点検、補充、管理を行った。
- ・毎月、月末の土曜日の午前は、職員が浴室内外の清掃を行った。事前にサイボウズで清掃場所のお知らせを行った。
- ・入浴支援担当表を作成しスムーズな職員配置を組んだ。勤務変更があった場合は随時変更した。病院などの受診など急な職員不足にも対応出来た。
- ・体調不良の個室対応の利用者がいた場合、入浴時間の変更を行い感染防止に努めた。
- ・水虫などの感染防止、及び薬の塗布により床に付着した薬で滑る事が発生し、転倒を防止する事も考え、アルコール除菌剤を購入。薬塗布する職員がそれらを使用し床を何度も清掃する事で転倒事故を防いだ。
- ・バスタオル、洗体用タオル、職員用タオルを更新した。古いバスタオルは床拭き専用雑巾として、職員用タオルは雑巾として再利用した。

3 経過・課題

- ・劣化の激しかったスチールラックを新たに購入する。その他にも浴室用椅子、浴室内の滑り止めマットを購入する。
- ・入浴支援では、勤務変更やレインボーとトライアングルの早出職員が増えた事で、入浴支援表

を組む事が難しい事があったが、全体で協力してもらい、何とか利用者には混乱は少なく入浴してもらえたかと思う。

- ・資材等の発注では、ボディークリームやシャンプーが少なくなると、声を掛けてもらえ、足りなくなる事はなかった。保管場所については、以前の洗濯室ではなく、浴室内の棚に変更した。
- ・課題として、支援員の配置や交代など、声を掛け合い協力して行わなければならない。
- ・係としては、3人で業務の分担を行い、調整等は出来ていたように思う。

(今田弘之、若床まゆみ、藤井秀樹)

20 洗濯

1 取り組み

- ・入浴後利用者の衣類の洗濯がスムーズにできるよう、洗剤等必要な物が不足しない様補充する。
- ・洗濯室を衛生的に保持する。
- ・大型洗濯機、汚物処理機等が故障しない様点検。

2 内容

- ・洗濯洗剤、柔軟剤、ソフランシート、酸素系漂白剤、汚物洗濯機用洗剤類等の資材が不足しないよう点検、補充、管理を行った。
- ・毎週日曜日の午前は、早出職員が洗濯物畳みの後、洗濯室内の清掃を行った。

3 経過・課題課題

- ・今年度は、入浴と洗濯の係を分けてもらい単独になった事で、洗剤等補充で、迷惑を掛けることが少なかった。確認のミスなど全くなかったといえるようにしなくてはならない。

(堂西美保、渡邊 武、掛川陽介)

21 消臭除菌係

目的

- 1 安心・安全・快適な環境の維持継続
- 2 「菌」「臭い」「汚れ」を取り除く

内容

- 1 清掃（日常清掃、巡回清掃、定期清掃、特別清掃）
- 2 消臭（エアーケムの使用）
- 3 除菌（オキシビルファイブ、ピューラックス、エコライザー、バイオボールの使用）

評価

- 1 エアーケムの交換時期（1～2か月に1回）
- 2 適正な物品使用（化学モップ、雑巾、掃除機）のチェック

教育と指導

- 1 抗菌、防かび（微生物の殺菌、生菌についての基礎知識とそのための技術・評価法）
- 2 感染予防策
- 3 適正に実施されているかラウンド、チェック、周知

H26年度実施と評価について

日常清掃、特別清掃は確実に行われているが、居室内の悪臭が取りきれないため、日常清掃の徹底、排泄訓練等を行う必要がある。

除菌については、日常清掃を行い、薬剤を使用し、感染症予防に努めた。

清掃用具にオキシヴィルファイブと専用の掃除道具を採用し、各グループで実施している。

5月～6月にインフルエンザの発生、12月には感冒症の集団感染が発生、感染対策を行い、重症化せずに終息した。

(田村裕子)

22 寝具

1 内容

- ・毎週火曜日までに寝具の発注用紙を記入。
- ・火曜日に寝具の搬入があり、その後リネンの係りが在庫の確認を行い調整をする。
- ・各グループへの在庫枚数の確認をし、リネン庫入口より左の棚に置く。
- ・在庫を確実にする為に在庫は最低限にする。リネン台帳を作りリネン室に置く。
- ・布団やシーツを汚した利用者についてはリネン台帳に名前を記入し、寝具を持ち出す。
- ・定期的のリネン庫の掃除を行う。
- ・不潔リネン室に、業者より麻袋を置いてもらい土曜日に回収してもらう。
- ・血液・便の付着した掛・敷布団・毛布は洗わずに小さく丸めて1枚ずつナイロン袋に入れて出し、回収してもらう。便の付いた物については便が付いていることを紙に書き、業者に分かるようにナイロン袋に入れておく。
- ・感染症に関わる汚染物が付着している場合、黒色のナイロン袋に入れ袋に詳細を記入する。
- ・破れた寝具を返却する際には専用用紙に記入する。
- ・7月に掛け布団から毛布に変更。
- ・10月に毛布から掛け布団に変更。
- ・定期的に使用している寝具を取り替える。

2 反省

- ・洗濯後のシーツの片付けも洗濯室に溜まることもなく業者に回収してもらう事が出来た。
- ・便汚染などの汚れて布団も適切に処理し、業者へ回収してもらう事が出来た。
- ・発注伝票の忘れがあったが、滞り無く適切にできた。
- ・帳簿が未記入で在庫との食い違いが見られた。
- ・平シーツの導入や、季節でなく外気温で更新して欲しいと要望があった。
- ・シーツのひもが切れていることがある事や、シーツのサイズが適合しない物があった。

(圓藤久明、山地恵子、瀬戸 彩)

23 営繕

1 目的

- ・依頼があれば、迅速、安く、丁寧に対応する。
- ・生活しやすい環境を整え整理整頓する。

2 実施内容

4月

障害者用トイレ前の補修・プレイルーム電球の取り替え・401号室カーテンレール直し・408号室居室前廊下の壁紙貼り替え・512号室戸棚修理・洗面室壁紙貼り替え…レインボー・トイレ床黄ばみ取り…レインボー・リビング廊下天井汚れ取り…レインボー・6通りトイレの棚作成、

清掃・リビングの机修理…はなまる・トイレの清掃…はなまる・グラウンドの除草

5月

裏山の伐採・洗面室壁紙貼り替え・脱衣場前の扉開閉調整・換気扇ズレによる隙間補修・リビング棚下扉修理・408号室、居室前廊下壁紙はがし・503号室、尿跡取り・512号室、天井破れ補修・612号室、衣類掛けスタンド修理・704号室、整理ダンス修理・リビングのソファの足修理
フェンスの外溝の清掃と付近の草刈り

6月

グラウンドの草刈り・107号室、201号室の壁修理・トライアングル洗面室の壁紙再コーキング
508号室居室前廊下の壁補修・505号室戸棚修理・512号室戸棚穴塞ぎ・レインボーリビング横トイレドアストッパー修理

7月

フォックドア修理・遊歩道ハウス前ホダ木貯水場排水バルブ弁修理・髭剃り用充電台取（レインボー）・201号室壁修理・障がい者用トイレ壁紙貼り付け・505号、508号室壁修理・512号室ベッド、戸棚修理・701号室ドアの調整・6通りトイレのトイレトペーパー取付台の修理・センター女性用トイレの鍵の調整・グラウンド、畑回りの草刈り、除草・センター玄関回りの剪定

8月

簡易トイレの汚物処理・ベッドのチェック（トライアングル）・201号室鍵・4通り職員室前トイレの戸修理・5通りトイレの戸修理・5通り壁角穴ふさぎ・406号室戸棚板破れ修理・408号室前廊下壁はがれ修理・502号室壁はがれ、床はがれ・512号室戸棚穴修理・各居室の網戸点検・畑周りの草刈り

9月

201号室壁下補修・309号室壁補修・リビング前廊下、壁の補修（トライアングル）・食堂前廊下のソファ補修・408号室外廊下壁補修・507号室ドアノブ交換・512号室内壁補修・髭剃り台作成（レインボー）・リビングの壁補修（はなまる）・洗面室5壁補修・608号室壁紙補修

10月

管理棟屋根の確認・多目的棟のとの確認・脱衣室の洗濯かご台車のタイヤ交換・食堂横のソファ修理

11月

管理棟屋根の掃除・物干し場の掃除・201号室壁修理・309号室壁紙修理・トライアングルリビング横の洗面所コーキング・402号室外壁修理・502号室壁紙修理・503号室掃除・505号室ドアノブサムターンから無しに変更・512号室ベッド、壁修理・脱衣室のカビ取り

12月

201号室壁の修理・201号室、307号室ドアの交換・505号室ドアノブ修理とベッド補強・レインボーリビング横の壁紙補修・職員室、脱衣室、洗濯室、食堂のエアコンのフィルター掃除・ともえ車輛駐車場の掃除

1月

201号室、307号室の壁の修理・204号室、303号室の尿石落とし・406号室のベッド補修・505号室のドアクローザー取り付け調整、壁穴修理・洗面室4の壁紙補修・はなまるリビングの壁穴修理・608号室…壁紙補修・ジェットタオル（手指乾燥機）の点検、掃除（管理棟、生活棟、セ

ンター)

2月

201号室の壁紙修理・105号室の入口上の板修理・食堂横廊下の椅子修理、点検・403号室の蛍光灯スイッチの修理・503号室の窓シリコン塗付・508号室の棚修理・510号室の居室内壁修理・512号室の居室内壁修理・706号室の配線用モール修理・はなまるリビング壁紙修理・はなまるグループトイレ掃除（黄ばみとりなど）・センタートレーニングルーム片付け・自転車パンク修理（1台）

3月

トライアングルリビングの壁紙補修・4、5通りトイレ倉庫の鍵修理、壁穴補修・5通りトイレ便座修理・404号室壁穴補修・708号室ドアの隙間調整・センタープレイルーム側の女子トイレの鍵修理・フォックスの苗用台作成・洗濯室外の掃除・センター雨漏れ補強・センターマシン移動・センターレインボー更衣室鍵修理

3 まとめ、課題

- ・レインボーの壁を一部パネルにしたことで廊下やトイレの壁紙を貼り替えることがなくなり、その分他に時間をかけることが出来るようになった。
- ・環境整備と合同作業もあり時間が思うように取れない場合でも前後の月に効率良く行うことで時間が足りないということはなかった。
- ・必要物品の購入が営繕日直前ならないよう注意した。
- ・遊歩道入り口が変更になったため夏場の草刈りが大変だと思われる。
- ・営繕室の整理整頓が今後の課題（常に誰かが使用して掃除等していない）
- ・グループごとの道具管理表を作成することで何処に何があるか把握できるようになった。

（藤井秀樹、竹間和輝、中野基行）

24 食生活

1 目的

- ・食堂の環境整備、清掃、備品の管理をおこない、毎日の食事を美味しく気持ちよくいただける快適な空間と支援を提供するため企画検討実施する。

2 内容

- ・食堂マニュアルが6月に変更になりマニュアル掲示板を更新した。
- ・各グループで必要に応じて利用者の席の変更を行った。
- ・座席変更の度に机に貼ってある座席表シールを交換した。
- ・手消毒用のジェスパやシャボネットの補充を行った。
- ・ボランティアに依頼し早めに食堂用テーブル台拭きを縫ってもらう事で保管し必要な時は食堂に補充した。
- ・毎週日曜日に各グループより一名ずつ集まり、掃除箇所が前回と重ならない様に指示を出し、効率的に食堂の汚れている箇所を清掃した。
- ・壊れた食堂掃除の道具を更新し、効率良く掃除を行えた。
- ・エプロンが古くなった物は更新し、破損があった場合はエプロンを修理した。
- ・首から下げるタイプのナプキン入れを更新した。

- ・夏場に蟻が食堂内に侵入する事があり、蟻の巣コロリを設置し駆除した。
- ・ゴミ箱を利用者が無理に開け破損した為、更新した。
- ・自動式の手指消毒用の機械を取り入れた。

3 課題・まとめ

- ・消耗品の補充や座席表シールの貼り替えが遅れる時があった。
- ・利用者の食事場所の変更や配膳や下膳方法、食事時間変更などがあったが利用者の方もスムーズに受け入れてもらえた。
- ・手を入れると自動で出る手指消毒についても上手く使用出来る利用者さんも増えている。しかし1回以上出す人もいるため引き続き支援は必要。
- ・その他の食事に関するマニュアルや備品についての改善が、来年度の課題となった。

(中岡健太郎、荒瀬好司、中野基行)

25 ともえ通信

1 概要

- ・ともえ通信の編集発行と、平成26年度の事業報告書の編集発行。
- ・ともえ通信は毎月1日に印刷。ご家族、理事、評議員に配布し、同時にホームページに掲載。

2 毎月の記事

- | | | | | | |
|----------|-------|---------|------------|---------|---------|
| ◇5月1日発行 | 第313号 | ①4月の様子 | ②各グループの出来事 | ③一品メニュー | ④花まつり |
| | | ⑤5月の予定 | ⑥新任職員自己紹介 | ⑦編集後記 | |
| ◇6月1日発行 | 第314号 | ①5月の様子 | ②各グループの出来事 | ③一品メニュー | ④母の日感謝祭 |
| | | ⑤6月の予定 | ⑥編集後記 | | |
| ◇7月1日発行 | 第315号 | ①6月の様子 | ②各グループの出来事 | ③一品メニュー | ④父の日感謝祭 |
| | | ⑤7月の予定 | ⑥編集後記 | | |
| ◇8月1日発行 | 第316号 | ①7月の様子 | ②各グループの出来事 | ③一品メニュー | ④七夕祭り |
| | | ⑤8月の予定 | ⑥編集後記 | | |
| ◇9月1日発行 | 第317号 | ①8月の様子 | ②各グループの出来事 | ③一品メニュー | ④物故者追悼式 |
| | | ⑤9月の予定 | ⑥編集後記 | | |
| ◇10月1日発行 | 第318号 | ①9月の様子 | ②各グループの出来事 | ③一品メニュー | ④スポレク祭 |
| | | ⑤10月の予定 | ⑥編集後記 | | |
| ◇11月1日発行 | 第319号 | ①10月の様子 | ②各グループの出来事 | ③一品メニュー | ④収穫祭 |
| | | ⑤11月の予定 | ⑥編集後記 | | |
| ◇12月1日発行 | 第320号 | ①11月の様子 | ②各グループの出来事 | ③一品メニュー | ④文化祭 |
| | | ⑤12月の予定 | ⑥編集後記 | | |
| ◇1月1日発行 | 第321号 | ①12月の様子 | ②各グループの出来事 | ③一品メニュー | ④クリスマス会 |
| | | ⑤新年の挨拶 | ⑥1月の予定 | ⑦編集後記 | |
| ◇2月1日発行 | 第322号 | ①1月の様子 | ②各グループの出来事 | ③一品メニュー | ④年賀式 |
| | | ⑤とんど | ⑥2月の予定 | ⑦編集後記 | |
| ◇3月1日発行 | 第323号 | ①2月の様子 | ②各グループの出来事 | ③一品メニュー | ④節分祭 |
| | | ⑤3月の予定 | ⑥新任職員自己紹介 | ⑦編集後記 | |
| ◇4月1日発行 | 第324号 | ①3月の様子 | ②各グループの出来事 | ③一品メニュー | ④音楽祭 |

26 研修

1 職員研修会

①目的

研修の機会の提供・利用者支援技術の向上
障害者に対する人権意識、福祉に携わる人の心得を認識するため
救急対応と福祉に携わる人の心得を認識するため

②内容

- ◇5月31日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者16名
講師：安田女子大学教授 船津守久氏
前半：テーマ「関わりの基本について」
後半：今年度、どのような研修会にしていくか討論会
- ◇6月21日(土) 18:10~20:00 職員室 参加14名
講師：安田女子大学教授 船津守久氏
前半：テーマ「関わりにおいて心がけること」
後半：他グループの利用者対応についてグループ発表 意見交流会
- ◇8月22日(金) 18:10~19:20 センタープレイルーム 参加者 23名
講師：三次消防署職員 4名
テーマ：「救命救急について」(心肺蘇生法、AEDの使い方)
- ◇8月30日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者19名
講師：安田女子大学教授 船津守久氏
前半：テーマ「心のかよいかかわりを求めて」
「知的障害者入所更生施設において多飲水行動を示す自閉症者に対するPECSを用いた支援の効果」
後半：多飲水について意見交換会
- ◇9月20日(土) 18:10~19:30 職員室 参加者 18名
前半：DVD「君が僕の息子について教えてくれたこと」
後半：DVD観賞についてディスカッション
- ◇10月31日(金) 18:10~19:30 センタープレイルーム 参加人数25人
前半：感染症対策について(ノロウイルス、インフルエンザ等)
後半：嘔吐物処理方法・窒息等の対応についてロールプレイング
- ◇11月13日(木) 18:15~20:00 センタープレイルーム 参加者21名
 - ①：誤嚥
 - ②：DVD・一時救命処置
 - ③：救命救急ロールプレイング
- ◇12月20日(土) 18:15~20:00 センタープレイルーム 参加者18名
講師：安田女子大学教授 船津守久氏
前半：テーマ「問題行動、行動障害について」

後半：事例発表（水中毒について）～菅原献司

◇2月21日（土）18:15～19:30 職員室 参加者17名

前半：知的障害者の高齢化について

後半：事例発表（認知障害について）～若床まゆみ

◇3月14日（土）18:10～20:00 職員室 参加者18名

講師：安田女子大学教授 船津守久氏

前半：「自閉症の方の行動と、私たちに求められる事」

後半：DVD～対人援助技術、信頼関係を築くスキル

◇3月18日（水）18:15～19:45 センタープレイルーム 参加者22名

前半：てんかん発作について

後半：事例発表（医療との連携）～竹林祐樹

2 新任職員のビデオによる研修

①目的

- ・自閉症の方に対する共通認識を持ち理解を深める
- ・障害だけでなく、1人の人としてその尊厳を見つめる事が出来るようになるために、自閉症の理解を深める

②内容

- ・2名の新任支援職員、事務員を対象に「自閉症者の自己実現を目指して」と、「自閉症の子どもたち～バリアフリーを目指して」「青年期・成人期のプログラム」「国立のぞみ園」の4本のDVDについて感想を提出してもらった。

（見土 唯、圓藤久明、中岡健太郎）

27 親の会

1 概要

- ・ともえ学園入所者のご家族で組織されたものが「ともえ親の会」であり、事務局は親の会係として職員が担当しており、以下親の会の活動を紹介する。

2 事業

1) 定例総会の開催

平成26年5月24日（日）於：ともえ学園療育センター 47家族、63名参加

2) 役員会の開催

1回目 平成26年5月24日（日）於：ともえ学園療育センター

2回目 平成26年6月22日（日）於：ともえ学園療育センター

3回目 平成26年7月20日（日）於：ともえ学園療育センター

4回目 平成26年9月20日（日）於：ともえ学園療育センター

5回目 平成26年11月16日（土）於：ともえ学園療育センター

3) 福利厚生…香典、弔慰金、生花、傷病見舞金、餞別の贈呈。

4) A I U損害賠償保険への加入継続。損害賠償金の支払い。

5) 入院時の付添看護料について。

6) A S J 互助会加入について。

- 7) 希望の家の解体について。
- 8) 親善球技大会 平成25年5月18日(吉田運動公園)
- 9) 茶話会と演奏会の開催…平成26年6月22日(日) 於:ともえ学園療育センター
「茶話会とバンドによる演奏会」 43家族、60名参加
- 10) 例会とお楽しみ会の開催…平成26年7月20日(日) 於:ともえ学園療育センター
「例会とお楽しみ会」 46家族、65名参加
- 11) 研修会と発表会の開催…平成26年11月16日(日) 於:ともえ学園療育センター
「講義:住み慣れた地域で快適生活と利用者発表会」 45家族、58名参加
- 12) 外泊の受け入れ、援助
- ◇平成25年 4月29日(火) ～ 平成25年5月5日(月)
 - ◇平成25年 8月10日(日) ～ 平成25年8月17日(日)
 - ◇平成25年 12月29日(月) ～ 平成26年1月5日(月)
- 13) グループレクリエーションへの参加
- ◇はなまる 平成26年10月11日(土) 19家族、24名参加
 - ◇レインボー 平成26年10月12日(日) 15家族、25名参加
 - ◇トライアングル 平成26年10月13日(月) 11家族、14名参加

3 感想・今後の課題

- ・今年度は昨年度に倣い、美化作業は行わず演奏会を行い大変好評だった。
- ・お楽しみ会は、職員が段取り等の準備を全て行う為負担が大き過ぎた。今後は業者に依頼するなどの対処が必要だと思う。
- ・利用者発表会では、各グループとも練習に励み、練習の成果を十分に発揮することができた。
- ・グループレクリエーションは各グループとも好評だったが、台風と重なったため、ご家族からは中止などの措置をとって欲しかったという意見もあった。
- ・今後もご家族の方の要望などを取り入れ、柔軟に対応できるよう努めたい。

(濱本 豊、菅原献司、見土 唯)

28 ボランティア

1 概要

ボランティアグループ三次の皆様のご協力により、衣類補修、台拭き縫い、アイロン掛け、顔拭きタオル縫い、雑巾の作成をして頂いた。

2 施設見学

初めて来園された方や希望された方には施設を見学をして頂き、利用者さんが生活されている様子などを見て頂いた。分かりやすいように配置図や学園の要覧などを渡した。

ボランティアに来園された方々の承諾を得て、写真をフェイスブックに掲載させて頂いた。

3 作業

作業に不足している物があれば来園された時に聞きながら補充を行った。

ミシンは作業前に確認し直ぐに作業が取り掛かれるようにした。

コードレス電話を置き使い方の説明をし、不具合や困った事などはすぐに電話で知らせてもらうようにしたところスムーズに対応が出来、終える事が出来た。

アイロンが一台しか無く作業が手間取った。アイロン台の購入を検討する必要がある。

4 アンケート

今後の対応を向上させるためにアンケートに回答して頂いた。
来園者の皆様で話し合っって1枚に回答して頂いた。

5 受け入れ状況

- ・ 6月23日 八次地区 6名 見学なし
- ・ 10月27日 十日市地区 4名 見学なし
- ・ 1月26日 河内地区 5名 見学なし
- ・ 3月23日 川西地区 5名 見学なし

6 反省

今年度はボランティアの回数が少なく、各グループの衣類補修が出来なかった。
何度も来園されるボランティアさんであったため、施設見学は無かった。

(桑田樹実、穂登原亮介、掛川陽介)

29 見学者

1 概要

電話等での依頼により、見学日、内容等の希望を聞き、行事予定表に沿って日程調整を行った。
特に、利用者の生活棟の見学については、利用者への影響や、プライバシーの保護を優先し、時間帯をずらせたりなど十分な配慮を行い実施した。

2 見学受入日

- ・ 8月30日 土曜日 4名 入所者の支援相談と見学(梅の木園職員、武村部長)
- ・ 9月5日 木曜日 1名 施設見学(一般)
- ・ 9月24日 水曜日 3名 入所希望(ご家族、JA吉田総合病院 地域医療連携室職員)
- ・ 10月7日 火曜日 2名 施設見学(中国芸南学園 第一成人部職員)
- ・ 10月27日 月曜日 7名 施設見学(広島県立庄原特別支援学校 保護者)
- ・ 11月21日 金曜日 3名 入所希望(ご家族)
- ・ 11月26日 水曜日 3名 入所希望(本人、ご家族、JA吉田総合病院 地域医療連携室職員)
- ・ 12月3日 水曜日 4名 施設見学(一般、支援センターあいる職員)
- ・ 3月24日 火曜日 2名 入所希望(ご家族)

(宮崎静美)

30 実習

1 目的

自閉症や知的に障害がある方たちに対して、支援方法や人権尊重をふまえた理念を実習生に伝え、福祉専門職に就くために必要な技能と知識の一端を学んでもらう。

2 受け入れ状況

- ・ 受け入れ無し。

3 まとめ

- ・ 受け入れ予定が全てキャンセルとなり、一度も受け入れが無かった事は残念。

4 今後の課題

- ・ 今後、受け入れ依頼があった場合は実習生が今後、社会人として、福祉職員として当学園で実習した経験が少しでも活かされるよう、また、知的障害者への理解が深まるような実習になる

よう配慮していきたい。

(高場修治、竹林祐樹、若床まゆみ)

31 あいさつ運動

1 目的

- ・『あいさつ』は気持ちを込めて交わし合うもの。気持ち良く笑顔で挨拶されると、された側も同じく気持ちの良い挨拶を返したくなる。
- ・昨年度の「レベル5の達成と、達成職員の表彰」により、レベル5に近づく職員も多くなった。本年も職員一人ひとりが楽しく、気持ちの良い職場を作る為には、自らの心を開いて良い挨拶が出来るようになる事が大切。
- ・進んで「お先にあいさつ」を笑顔と一緒に持続していく。

2 目標

- ・視線を合わせ、笑顔で、声を出して挨拶し、会釈することを意識し、お互いが気持ちの良い職場作りを目指しましょう。

3 実施計画

①利用者、職員間の挨拶を積極的に行う。

- ・あいさつレベル5の達成を目標とする。
- ・司会者に朝礼時と施設見学時にタスキと腕章を付けてもらい、「笑顔で」「元気にはっきりと」その日の出勤職員や各グループの利用者に率先して挨拶を行う。

②職員室の掲示板に「あいさつ運動」のポスターを貼る。

- ・2ヶ月に一度、係員が交替で作成し貼り替える。
- ・自由に個性を生かし、標語や絵などのポスターを作成する。

(6月 川本、8月 山縣、11月 山地、12月 林)

③あいさつは、マナーや接遇にも関係しており、利用者や職員間の言動や態度などでこれは？と思われたことに対しては係員が各グループの課長と話し積極的に正していけるよう声掛けや態度で示していく。

- ・現場を離れるときに、行き先や、仕事内容を明確に他の職員に伝えているか啓発する。
- ・利用者に対する言動や態度にも注意をする。(あいさつの仕方、同じ高さ目線に立ち挨拶をする。声掛けの仕方など)

3 実施内容

①11月を『気持ちの良い挨拶強化月間』とした。

- ・朝礼時、係員が勤務の時に、11月は『気持ちの良い挨拶強化月間』だということを伝える。

朝は、「おはようございます。」

勤務中は、「お疲れ様です。」

退勤時は、「失礼します。」等

自分から進んで視線を合わせて笑顔で「あいさつ」(挨拶レベル5)をしていきましょう。と呼びかけた。

②12月に、役員で『気持ちの良い挨拶強化月間』で、感じた気持ちの良い挨拶をした職員を選出してもらい、どんなに気持ちの良い挨拶だったのかをサイボウズで周知した。

③係職員の意見

- ・挨拶強化月間中は笑顔が絶えず挨拶も気持ち良くされていました。
- ・期間が終わると少し落ち着いてしまったような感じで受け止められている気がする。
- ・毎日、朝礼で挨拶の強化を自分なりに、アピールしてきました。
- ・厨房では、「おはようございます」から始まり常に気持ちの良い挨拶を交わすことが出来た。
- ・強化月間を呼びかけたので、すぐに浸透していつもの挨拶もよりはっきりと解りやすく、一人ひとりの気持ちの良い挨拶を伝えたり、伝わったりしたと思う。
- ・気持ちの良いあいさつを受けた印象が多く感じられた。気持ちの良さはその後の勤務遂行にもゆとりを与えられ円滑に導かれたと思う。

4 経過・課題

- ・運動期間中は確かによい挨拶などはされていましたが、期間が終わると挨拶をしても返す事もなく無言の職員が多かったように思った。
- ・職員によっては朝の不機嫌さによって挨拶をされない職員もおられ、人として最低限の事が出来なくて、ともえ学園の職員として恥ずかしいように感じた。
- ・『気持ちの良い挨拶強化月間』を年度内に何度か計画し、啓発すれば良かった。
- ・一年を通じて、日常の当たり前の挨拶が出来てないことがあったり、出来ていても声が小さかったり、笑顔が出来ていなかったりしたこともあった。
- ・マナーや接遇において、積極的に正す為、根気よく声掛けや態度で示していけるようにしたい。

(林 宏典、山地恵子、川本亜由美、山縣圭子)

32 ゴミゼロ運動

1 目的

- ・施設内外を清潔に保ち職員全体で住みやすい環境を整える。

2 取り組み

①清掃活動

- ・年間の清掃場所と係員を決め清掃活動を行った。
- ・毎月第4土曜日の14:45から15分間を清掃活動とした。
- ・事前に場所と内容、参加者名をサイボウズ掲示板にて周知した。

参加者（各グループから1名、事務所・厨房・看護から1名、ゴミゼロ運動係1名の5名）

掃除箇所

実施日	場 所
4月26日	学園正面玄関清掃
6月28日	ゴミ倉庫内清掃
7月26日	療育センター玄関清掃
8月23日	管理棟宿直室清掃
9月27日	食堂外側窓清掃
10月25日	食堂外側窓清掃
11月22日	正面玄関窓清掃
12月27日	管理棟宿直室清掃
1月24日	管理棟職員室清掃

2月28日	正面玄関清掃
3月22日	女性更衣室清掃

②ゴミゼロ啓発活動

- ・ゴミゼロ係が標語を作り各部署に提示した

3 まとめ

- ・日頃掃除が出来ない場所などが清掃出来るので良い活動だと思う。
- ・15分間の短い時間の中で、効率よく作業を行うために事前に準備物をそろえ、参加者も自分の役割を把握する事に努める事が出来た。
- ・ゴミゼロ啓発活動の標語の掲示は目にとまる事で意識してもらおうように行っただが、実際にはあまり必要性を感じなかった部分もあると感じた。
- ・当日、清掃活動を行う事を朝礼で周知した事で、時間を守って集合開始ができた。
- ・15分で出来なかった場所は、次の月も続けて清掃をおこなった。

(菅原献司、福永真也、藤本将太郎、奥田崇喜)

33 掲示物

1 活動

- ・管理棟職員室のホワイトボードに情報誌やカタログ、広報誌やお便りを掲示し、それと併せてサイボウズに題名、発行者、種別、掲示期限を打ち込み周知した。
- ・サイボウズ内に打ち込んだもので掲示期限を過ぎた物に関しては打ち込んだ職員が消去していきサイボウズ内の整頓にも留意した。
- ・また、掲示物は職員が協力して期限の過ぎた物を撤去し、また廃棄し職員間の連携も保てたと思う。
- ・見栄えが悪くならないようバランスを考えながら掲示した。
- ・基本的には一週間交替で取り組んだが、状況によって交代する事も数回あり、臨機応変に対応出来た。

2 反省

- ・掲示期限が過ぎた物に関して言えば棚に溜まりすぎる事があったのもう少し職員間での連携が必要な場面もあったように感じた。
- ・ホワイトボードを綺麗に見えやすく保つために、順番は関係なく係員全員で整理する。
- ・掲示に目を通したくなるような工夫。

(熊澤誠治、上川清美、高森強、松本和幸)

34 エコロジー

1 理念

- ・限りある資源の活用方法と環境に配慮しエコロジーに対する意識を高める
- ・施設内で実践できるエコ活動の啓発

2 内容

- ・2ヶ月おきにテーマと担当を設けて啓発活動を行う。
- ・エコロジー通信の発行(2ヶ月おき)

(管理棟会議室、各グループの職員室に掲示)

- ①10月 11月 自然エネルギー 担当：魚見
- ②12月 1月 fan to share 担当：高森
- ③2月 3月 WARMBIZ+ONE 担当：堂西

3 反省

今年度は前半殆ど啓発活動を行わなかった。広報誌のみの啓発活動で他にアイデアが浮かばず他の係の職員と連携した啓発活動が出来れば良かった。

(魚見敏満、堂西美保、高森 強、山下英明)

35 ホームページ

施設の情報公開と共有、交流をより深めるためすみやかな更新とコンテンツの充実を図った。ブログは毎日更新し、フェイスブックでも出来事を公開した。

(前岡孝司)

36 環境整備

1 目的

- ・施設外を中心に清潔、安全に保ち、気持ちのよい生活環境、来園者にも良い印象を与えられるように環境整備を行う。

2 内容

- ・学園周辺の草刈り（草刈りを行う）
- ・FOXの修繕と管理（掃除や色塗り）
- ・遊歩道整備と管理（安全に散歩ができるように倒木の伐採や草刈りを行う）
- ・山の管理（下草や枝木の切り落とし）
- ・10月と11月は椎茸の原木の切り出しを行う。
- ・日中活動の下準備

3 まとめ

- ・6月に結成された。7月～10月まで月に2回、11月～3月まで月に1回行った。午前活動の下準備などすることが沢山あり時間が足りないぐらいだった。危険な道具の使用が多いので使用前には必ずメンテナンスを行った。草払い機やチェーンソーを誰がどのように使用したか把握できていない。学園の備品を安全で大事に使用して頂く為にも講習の実施を検討する。

(福永真也、魚見敏満、穂登原亮介)

37 健康体操

1 目的

健康体操をしていくことで利用者さんが楽しい気持ちで身体を動かしていくことに慣れ、気分転換をしていくことで健康維持に繋げる。職員も楽しみながら、手を添えた支援をしていく。

2 内容

講師 河原田聡美さん

日程 毎月2回 土曜日か日曜日の午後を講師と話合いのうえ、日程をきめる。

3 実施内容

- ◇4月6日(土) レインボー→トライアングル→はなまるの順番
- ◇4月26日(土) レインボー→トライアングル→はなまるの順番
- ◇5月6日(火) レインボー→トライアングル→はなまるの順番
- ◇6月7日(土) レインボー→トライアングル→はなまるの順番

- ◇ 6月28日(土) レインボー→トライアングル→はなまるの順番
- ◇ 7月6日(土) レインボー→トライアングル→はなまるの順番
- ◇ 7月21日(土) レインボーとトライアングル合同→はなまるの順番
- ◇ 7月21日(土) レインボーとトライアングル合同→はなまるの順番
- ◇ 8月30日(土) レインボーとトライアングル合同→はなまるの順番
- ◇ 9月13日(土) レインボーとトライアングルとはなまるの合同でグラウンドでスポレクの練習
- ◇ 9月20日(土) スポレク祭の出し物として参加
- ◇ 10月18日(土) レインボーとトライアングル合同→はなまる→個別ストレッチ
- ◇ 10月25日(土) レインボーとトライアングル合同→はなまる→個別ストレッチ
- ◇ 11月1日(土) レインボーとトライアングル合同→はなまる→個別ストレッチ
- ◇ 11月29日(土) レインボーとトライアングル合同→はなまる→個別ストレッチ
- ◇ 12月6日(土) レインボーとトライアングル合同→はなまる(感染症の為、ストレッチ中止)
- ◇ 12月20日(土) レインボーとトライアングル合同→はなまる(感染症の為、ストレッチ中止)
- ◇ 1月17日(土) レインボーとトライアングル合同→はなまる→個別ストレッチ
- ◇ 1月31日(土) レインボーとトライアングル合同→はなまる→個別ストレッチ
- ◇ 2月8日(日) トライアングル→レインボー→はなまる→個別ストレッチ
- ◇ 2月14日(土) トライアングル→レインボー→はなまるの順番
- ◇ 3月7日(土) トライアングル→レインボー→はなまる→個別ストレッチ
- ◇ 3月28日(土) トライアングル→レインボー→はなまる→個別ストレッチ

4 課題、まとめ

一年を通し、健康体操を実施したことで、利用者さんの気分転換に繋がってきているように思う。職員が健康体操の時間を少しずつ受け入れてきたことで利用者さんも変わって来たようにも思えた。少しずつではあるが、体を動かしていくことに慣れ、健康維持につなげていけると思う。個別ストレッチを行う事で職員が指導していく力を付けていくと共に利用者の一人ひとりの様子を見ていくことができた。課題として、利用者の動きを気付きとして、残していくことをしていくと良いと思う。

(若床まゆみ、渡邊 武、竹林祐樹)

38 広島県知的障害者福祉協会 支援スタッフ部会

1 概要

広島県知的障害者福祉協会の各施設の支援スタッフ部会員として、施設から選任され参加した。

支援スタッフ部会義

- | | | |
|--------|----------------------------|-----------|
| 9月11日 | 広島県知的障害者福祉協会第1回圏域スタッフ部会議 | 場所：ひとは福祉会 |
| 12月11日 | 広島県知的障害者福祉協会第2回圏域スタッフ部会議 | 場所：広島南区役所 |
| 2月19日 | 支援スタッフ部会総会・研修会「発達障害の特性と支援」 | 場所：皆賀園 |

2 内容

- ・支援スタッフ部会の活動内容について
- ・スタイルファッション誌の企画について
- ・日頃の支援の悩みや活動内容について
- ・他施設のクラブ活動の内容について
- ・各事業所の虐待防止への取り組みについて

3 感想

- ・日頃の

支援の悩みや、クラブ活動の内容を話合うことができ、色々な取り組み方法を教えてもらった。

- ・施設見学もさせていただき、活動内容の取り組みを教わる事ができた。
- ・虐待防止についての各事業所の取り組みを聞かせてもらい意見交換をした。
- ・研修会もあり、知識を深める事ができた。

(岩戸洋三)

39 施設整備

- ・蛍光灯をLED灯に交換
- ・全自動炊飯器ライスロボ設置
- ・洗濯室裏に物干しの設置
- ・周辺フェンスの拡張、法面整形工事（野生動物への対応）
- ・井水管移設工事（歩道陸橋から県道地下へ）
- ・29人乗りマイクロバス更新
- ・療育センター空調設備工事
- ・グラウンドの樹木伐採

(高田孝康)

平成26年度 事業報告書

平成27年 6月 1日発行

ともえ学園（障害者支援施設）

〒728-0002 広島県三次市西河内町250番地
電話 0824-62-5130 ・ FAX 0824-62-1934
E-mail tomoe@pl.pionet.ne.jp
URL <http://www.pionet.ne.jp/~tomoe/>
